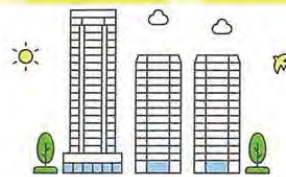


タワーマンションの 適正管理について

令和7年2月25日 本会議【代表質問】にて質疑しました。質疑内容より一部抜粋。

※「タワーマンションと地域社会との関わり」のあり方に関する
有識者会議（以下、有識者会議）からの報告書に基づいた質問です



河南（かわなみ） 神戸市に質問

法定外税の議論より先に 検討することがあるのでは？

例えば…

- 非居住者に対して区分所有者の議決権を委任させる仕組みを活用する
- 修繕積立金に関しては、将来的な値上げを前提とした段階積立方式ではなく、均等積立方式を強く推奨する 等

■私（河南）は、市長がタワーマンションの問題に対して問題視されていることを大変評価をいたします。

■しかしながら、税の議論を行うより、まずはタワーマンションが抱えるリスクの回避につながる方策を検討すべきではないかと考えます。

■これまで課題とされているマンション解体を想定した費用を別途積み立てるということを、行政がリードすることが重要と考えます。

■市が想定するリスクを払拭できる誘導政策を行うことで、都心機能誘導地区におけるタワーマンション建設を一律に制限するのではなく、リスク管理が徹底できる場合に限っては、建築を容認することもできるのではないかと考えますが？



今西副市長からの回答

修繕積立金について

河南議員からの指摘のように均等積立方式の採用は有効な手段であり、国が令和6年6月に改定した長期修繕計画作成ガイドラインにおいても望ましいとされていることから、本市としても広報啓発を実施しているところ。

管理組合による解体費用の確保の在り方について

国において議論がなされているところ、国の動向を注視しながら、よく研究をしていきたい。

都心機能誘導地区における制限について

神戸市 都心機能誘導地区 検索

都市機能とバランスの取れた都心居住の誘導という観点から行っているもの。都心部においては、タワーマンションを含む住宅系用途について、リスク管理が徹底できるかどうかにかかわらず、建築を一定制限させていただいています。今後とも建築動向等を注視しつつ、現行ルール運用を適切に行うことで、都市機能とバランスの取れた都心居住を誘導していきたいと考えています。

河南（かわなみ） 質疑まとめ・要望

私は、区分所有の問題点を解決することが、いわゆる将来の廃墟化を防ぐ筋道だと考えています。課税によりその目的が達成するとは思いません。忘れてならないのは、空室が賃貸として提供されている場合は、その所有者、マンション投資家によって地域の住宅供給が支えられているということ。この課税の動きのせいで、投資家が神戸からいなくなると、投資家が価格を下げざるを得ず、神戸のマンションの資産価値に影響を与える可能性も忘れるべきではありません。

これらの取り組みを進めることで
神戸市が目指す持続可能なまちづくりを実現できるよう
引き続き検討と具体的な対応をお願いします！

タワーマンションの適正管理に関わる 具体的な施策の推進としては

非居住者の議決権委任の仕組みや、修繕積立金の均等積立方式の推奨、解体費用の積立など、有識者会議の議論を踏まえた具体的な管理手法の導入に向けて、市として積極的に指導、支援を行うことを要望いたします。

マンション管理組合への支援強化については

マンションにより課題は様々であります。適正管理の推進には管理組合の意識向上と体制強化が不可欠です。この点も支援策を充実されることを求めます。

法定外税に関しては

他都市の動向を注視しつつ、どのような形が最適か、慎重に検討を進めるようにお願いします。

神戸市中央区 タワーマンションの

適正 管理と税の話



かわなみ注目
今後は
気になる！



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

『タワーマンションと地域社会との 関わり」のあり方に関する有識者会議』 からの報告書に基づき神戸市に質問！

タワーマンションと地域社会との関わり」のあり方に関する有識者会議とは？（以下、有識者会議）

人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくりとして、タワーマンションの建設により変化する周辺地域の現状を分析し、対応を検討する目的で、令和6年5月より令和7年1月にかけて計4回、会議が行われました。令和7年2月に最終版の報告書が公表されました。



①～⑤のテーマに基づき、課題と対応策が議論されました

項目	規制	補助金（税優遇）	税制	その他
①マンション管理	管理届出制度（実施済）の義務化を検討			管理組合への助言・支援（実施済）
②災害対応		備蓄や非常用電源に対する補助の検討		大規模災害を想定した対応策の検討
③非居住対応			タワーマンション等の適正管理を促進するための政策税制の検討	特にこの税制に関して質問した市政報告です
④バランスが取れた都心のまちづくり	都市計画による規制（都心機能誘導地区については実施済）	オフィスビルの新規建築に対して国都税の軽減（実施済）の拡充	都市計画上の規制を補完する政策税制の検討	
⑤終末期への対応				解体コスト負担のあり方の議論

報告書は神戸市WEBにも公開中→

神戸市 タワーマンション 有識者会議 検索

神戸市議員

《中央区》

かわなみ ただかず

発行：自由民主党神戸市議員団・無所属の会 かわなみ市政報告 vol.47 編集：2025年（令和7年）4月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846 ■http://55kawafami.com

【かわなみ事務所】〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

市政相談
お問合せ



神戸市議員 《中央区》

自由民主党神戸市議員団・無所属の会

かわなみ ただかず

市政報告
vol.47

タワーマンション非居住者対応 法定外税の創設について

令和7年2月27日 予算特別委員会 第1分科会(行財政局)にて質疑しました。質疑内容より一部抜粋。

有識者会議からの報告書に、**都心機能誘導地区内のタワーマンションに限定して法定外税の導入を検討するべき**というのがありました。しかし、実質的に新たなタワーマンション建設の可能性は低い地区内であり、法定外税の導入は、現在のタワーマンション所有者に対してアンフェアで、あたかも後出しじゃんけんのように増税を求めることになるのではないか？**公平な税制として成り立つのか？との懸念**があり、神戸市に質問しました。

神戸市 都心機能誘導地区 検索

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて



神戸市に質問!
税の議論は
時期尚早では?

河南(かわなみ)から 行財政局への質問

ポイントを3つまとめると…

1 先に税制を検討するのは時期尚早では?

法定外税は非居住者対応の対応策として示されたものですが、空き部屋の発生・増加の抑制、適正管理、有効活用の方策の在り方が十分に議論をされないまま税制の検討の場を求めるというのはあまりにも時期尚早じゃないかと考えますか?

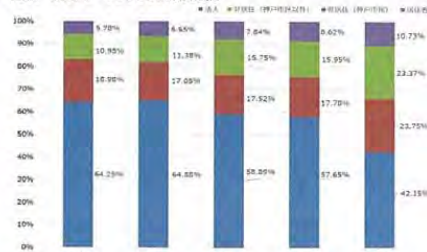
2 税の他にも全てが絡む問題。税務が中心で良いのか?

窓口は企画調整局ですが、なぜか税務が中心になっているというイメージがあります。税務もそうですが、企画調整局、都市局、建築住宅局、地域協働局、健康局、消防局、危機管理局、中央区役所にも考えを聞いていただき議論をすべきだと思いますが?

3 法定外税の導入ありきで議論が進んでいくのでは?

有識者会議の報告書では、納税義務者・課税標準・税率など税制の検討課題は多いとされながらも、タワーマンションの定義さえされていない中、徴収した税収の使途まで言及をされています。その使途も、都心のバランスの取れたまちづくりの財源に充当することも検討すべきとされています。これは、どう考えても解決すべき課題のタワーマンションの廃墟化を防ぐための活用とは言えず、まるで法定外税の導入を誘導しているかのような内容と受け止めざるを得ません。可能性を検討と言われますが、法定外税の導入ありきで議論が進んでいくのではないかと懸念がありますか?

図表8 市内タワーマンションの所有者属性



上記グラフは「タワーマンションと地域社会との関わり」のあり方に関する有識者会議からの令和7年2月報告書記載のデータです。神戸市ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/20240328.html>

左記データより
高層階になるほど、
住民登録の無い部屋の割合が低く、
かつ、市外居住者が多い

■市内タワーマンションの所有者属性

居住状況	1階～9階	40階以上
所有者がそのマンションに居住	約64%	約42%
所有者がそのマンションに非居住	神戸市内の別の場所に居住	約19%
	神戸市外に居住	約11%
	法人が所有	約6%



行財政局からの回答



令和7年度に『検討の場』を設置し、論点を整理する予定
新税の導入は現時点では未定だが、
『検討の場』を設けることについては理解して欲しい

- 1 河南(かわなみ)委員からの指摘のとおり、今後の課題解決に向けて、全体的に、かつ包括的に取り組みを進めていくべき課題であると思っています。有識者会議からの報告書では、空き部屋の増加により合意形成が困難になるおそれがあるとの観点から、空き部屋の発生増加を抑止するため、新たな法定外税の創設というものが定義されているところです。タワーマンションを既に所有されている方々には、この提言内容がいわゆる将来増税に繋がらないかという懸念の声を上げておられるということについては、我々としても承知をしています。現時点においては整理すべき論点が数多くあると認識をしており、令和7年度検討の場の設置を予定しています。
- 2 それぞれの施策においては、各関連の部署を中心に検討が進むと考えていますが、あくまでも税としての検討については、令和7年度に場を設けることについて理解をいただきたい。
- 3 確かに報告書の中には新税の使途についての言及がなされていますが、あくまでも例示であると認識しています。必ずしもこの使途のために新税を導入するといった意図をもって記述されているというようには考えておりません。そのようには理解をしておりません。

繰り返しになりますが、この新税の導入について現時点では全く未定。報告書の中には様々な指摘がありますが、今後の検討に委ねられていくと認識をしています。検討の場においては、丁寧に各論点についての議論を進めさせていただこうと考えているところです。



神戸市から上記の回答をいただきましたが、やはり「法定外税の導入ありきで議論が進んでいくのではないのか?」「徴収した税収の使途は?」について、大変気になります。今後も注視していきたいと思います。

神戸市に
提案も!



高所得者の方に、神戸に住民票を置いてもらう施策はどうか?

投資家の方もいらっしゃれば、所有しているが仕事等の都合で部屋を貸し出し中の方もいらっしゃいます。その際に、空室状態が発生し、課税が適用されなくなれば、不動産を手放す方もいらっしゃるかもしれません。空室が問題であるなら、セカンドハウスとして所有されているオーナーで一定の高所得者に対しては、税のインセンティブを与えるなどで神戸に住民票を置いてもらえるようにすれば、結果、インセンティブ以上の税収増だけでなく、人口も増え、空室を防ぐこともできる、という考えもあるかと思っています。

河南
(かわなみ)

質疑まとめ・要望

タワーマンション非居住者対応の法定外税創設は、所有者に対して大きく反作用であることは間違いなく、神戸の都心だけではなく神戸全体への不動産投資へのモチベーションが大きく下がると思います。有識者会議の報告以降、まだ決まりもしていないことがあたかも決まったような報道がされており、これは神戸の行政方針でタワーマンション建設は禁止だといった誤ったイメージが神戸市の内外にできつつあります。

このことは神戸のマンション住宅についてよくないイメージを植え付け、特定の新たな課税に対して市民からの信頼を損なうことにつながりかねません。

当局において、改めて慎重なご判断をいただくよう強く要望しました。



令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

本紙記載の質疑内容詳細は
WEBで詳しく
お読みいただけます



料金別納郵便



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 **神戸市会議員**

うへはたのりひろ 神戸市政報告
に対する政策提言・市政相談はこちらまで➡



党派を超えて神戸市政に係る要望・提言!



- 1 政令指定都市の権限強化と特別市の速やかな法制化
- 2 平和に貢献する防衛産業の活性化と防衛装備の輸出促進
- 3 神戸港の保税工場を認め、輸入品の非関税を維持のまま加工製造する輸出体制の実現

◀高市早苗
国務大臣に要望

- 4 再エネ賦課金廃止とメガソーラー規制
- 5 原子力発電の活用と人材育成研究の促進
- 6 プラスチックごみのサーマルリサイクル推進
- 7 外国人生活保護の廃止 等

玉木雄一郎衆議院議員に要望➡



日米友好の強化へ! 神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉!

駐日米国武官 ダニエル・フィリオン海軍大佐と
今後の連携を確認➡

50年前に制定された神戸港の非核神戸方式が障害となり、神戸港には米軍艦船の入港がすることが出来ず、阪神淡路大震災時には米軍の支援も受けられず、日本国民たる神戸市民の人命よりもイデオロギーが優先された歴史があります。これに危機感を抱いた私上畠のりひろは5年前から議会で取り組み、①非核神戸方式は法的拘束力がないこと、②港湾法の違法な運用であること、③米国公文書をもとに核兵器の搭載もないことを確認し、国会でも内閣に確認を取って頂きました。また、米国総領事と連携し、港湾局に米国の立場を説明してきました。そして遂に非核証明書なしに米軍掃海艇ウォーリアが



▲神戸港に入港した艦船ウォーリアにて艦長と意見交換

50年ぶりに神戸港へ入港し、非核神戸方式は事実上の終了を迎えました。今後は大阪港と類似した手続きで運用されます。イデオロギーではなく、日本国民の生命と財産を守ることが最優先です。

発行

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階

TEL. 078-322-5846
FAX. 078-330-0239

Email: uehata.kobe.japan@gmail.com

どのような些細なことでも結構です! ご意見やご相談は

神戸市会議員

うへはたのりひろ まで
お寄せください。



▲台湾総統である
頼清徳閣下に要請

会して、神戸の誇る「だんじり祭り」をはじめとする神戸の魅力をPRするとともに、神戸空港の台湾線の就航に向けた協力を要請

神戸空港の国際化! 台湾線の就航が実現!

この台湾線の就航にあたっては、私達神戸市会議員も積極的に取り組んで参りました。令和6年に台湾の総統就任式にご招待をいただき訪台した際には、総統(大統領)である頼清徳閣下にお

いたしました。一方で、中国当局はこのような台湾との友好交流に対し、度々圧力を加えてきました。実際に、神戸市役所に対しても「議員を総統就任式に参列させるな」といった極めて無礼な文書を送付してきた事実があり、この件は国会でも取り上げられました。その結果、**日中共同声明には法的拘束力がない**ことが明確に確認され、中国側の主張は正当性を欠くものと認識されています。私は、日本と台湾の友好関係をさらに深めることこそが、神戸の未来に資するとの信念のもと、中国からの圧力には屈することなく、堂々と台湾を訪問し、**神戸市から唯一人、総統就任式に正式に参列**いたしました。今後も、神戸市から日本・台湾両国の連携強化に向け、揺るぎない覚悟で取り組んでまいります。

人工知能を活用した 神戸の未来の構築に向けて!



令和5年8月、台湾のオードリー・タン デジタル担当大臣と久元喜造神戸市長との会談に、私上畠のりひろも同席いたしました。さらに令和6年8月に来神されたオードリー・タン氏と再会し、会談が実現いたしました。この会談においては、人工知能(AI)と民主主義、AIを活用した今後の行政経営の在り方、フェイク情報への対抗等について意見交換を行い、継続的な連携体制の構築についても確認いたしました。あわせて、神戸市におけるAIの利活用の取組についてご協力を快諾いただいております。

オードリー・タン▶
元デジタル担当大臣と



強制的親子別姓制度 (夫婦別姓制度)に反対!



各地の弁護士会が組織的に全国で夫婦別姓実現を求める意見書の提出を求める趣旨の陳情を提出しています。夫婦別姓は強制的親子別姓です。神戸市会にも陳情は提出され、共産・立憲・公明が賛成し、私達自民党は反対で可否同数に。**私は総務財政委員長として委員長職権で陳情採択を阻止(反対)**、本会議では坊議長が議長採決で反対し、夫婦別姓制度の意見書を阻止しました。



▲総務財政委員長として
委員会報告実施

神戸
市会議員ひらの
平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 会派直通内線 7060**神戸空港は、4月18日より国際線が就航(当初週40便から)**

韓国(ソウル)・中国(上海・南京)・台湾(台北・台中)の4航空会社が定期便に近い形でチャーター便を就航。

すでに発表済み4航空会社を含む20航空会社(韓国・中国・台湾・モンゴル等)からも就航希望がある。

2025年
4月
神戸空港は
国際空港に!**兵庫運河が「自然共生サイト」3月14日に環境大臣認定!
同時に国際データベースにも登録!**

「自然共生サイト」の認定は、2023年12月に国連のCOP15(生物多様性条約第15回締約国会議)で採択された新たな世界目標である「30by30」(生物多様性のため2030年までに各国の陸と海の各々30%以上の面積を保全する世界目標)達成のための日本における取り組みの一環。

※1:自然共生サイト

環境省により、企業、団体、自治体等によって生物多様性の保全が図られている区域を認定する仕組みです。



兵庫運河あつまれ生き物の浜

**中学校(兵庫区5校:夢野・湊山・兵庫・須佐野・吉田中学校)の
センター方式の給食が2026年1月より開始予定**

学校給食センターで調理した給食を配送する方式で、温かい給食を兵庫区の5つの中学校にて提供開始予定!(神戸市第二学校給食センターが2025年10月完成予定)



中学校給食

中学校の部活動の地域移行(コベカツ)が2026年9月より本格移行

活動団体の第1次募集で神戸市全体で620団体が応募

部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来にわたって子供達が主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することも目的に生徒が地域の方々と共に活動する内容です。



コベカツイメージ

病児保育の兵庫区設置を強く要望!!

神戸市は、政令市トップレベルの病児保育施設24施設を整備済みであるが、兵庫区は、未設置のため強く設置を要望。合わせて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にしたうえで、予約まで完結できるシステム構築を要望

祭りなどのぼりの設置に関わる条例改正を実現!

神社などが祭りの際、のぼりがガードレールなどに設置することが神戸市屋外広告物条例にふれ、違反。祭りを大切にしたい思いから、条例改正を神戸市へ要望し、実現!

湊川(パークタウン)にスタートアップ支援施設ができます

起業家を支援、地域経済の活性化に寄与するため、湊川エリア(パークタウン)に新たにインキュベーション施設が設置されます。

*インキュベーション施設とは、起業家やスタートアップ企業を支援するための施設。

神戸空港

神戸空港 国際化(2025年4月よりチャーター便開始) 2030年定期便就航に向けて CIQ(税関 出入国管理 検疫)を含めた国際ターミナル内のスタッフ、警備などの対応体制は、確保できているが、安全に運用をしていくために週40便からスタートする。

神戸から世界へ

BE KOBE

神戸から世界へ

BE KOBE



出発地	出発時刻	到着時刻	機種
ソウル	11:00	13:00	毎日
ソウル	18:30	20:40	毎日
香港	14:00	17:30	毎日
上海	19:00	25:30	毎日
台北	11:30	13:30	毎日
台北	11:00	13:00	月・水・金
台北	11:00	12:55	月・金



神戸空港国際チャーター便就航航空会社

国際チャーター便 4航空会社の航路とダイヤ

兵庫運河



世界銀行が兵庫運河を視察(約40名)2024年11月13日

兵庫運河は、波が高い和田岬沖を避けて安全な船の運行のために、1899年明治32年に整備され、5つの運河で構成され、我が国最大の運河(6470m)で、明治三大土木遺産の一つでもあります。参考までに小樽運河は、全長1140mです。戦後は、貯木場として活躍したが、一方で運河の汚染が深刻になったことから、きれいな水辺によみがえらせようと地域地元の方々が力を合わせ、(2013年設立の5団体からなる自然を再生プロジェクト)さらに兵庫運河の自然を再生するため、人工の干潟や砂浜が整備され、アマモの移植やアサリの保全、いきものの生育調査など様々な取り組みが行われたことで、水質は大きく改善し、多種多様な生物が生息しています。また、里海の持続を目指して環境学習の場としても利用されています。さらに、環境学習施設が令和7年度にできる予定です。昨年11月には世界銀行が兵庫運河を視察しました。

兵庫区の中学校 温かいセンター方式給食の開始について

令和3年に兵庫区5つの中学校給食については、給食センターを整備することとなり、令和4年1月12日に、学校給食センター整備計画(2箇所)を策定し、整備に向けた手続きを進めたが、兵庫区5校分については、北区藤原台での整備で予定していた。しかし地元の合意に時間がかかり、早期移行をはかるため建設予定地を西区に変更しました。神戸市第二学校給食センターとして(兵庫区5校、灘区5校、北区16校)2025年10月完成を目指しています。給食センターで調理した温かい給食をそれぞれの学校に配送する方式で、兵庫区の5校の中学校では、来年1月から始まります。



神戸市第二学校給食センター完成イメージ

	開始年月	対象	提供方式
第1期: 10校 [2024年度2学期]	2024年9月	中央区6校 (生徒数2,131人)	民間調理施設方式 ・ウオクニ(株)
	2024年10月	中央区1校 須磨区3校 (生徒数1,140人)	親子調理方式
第2期: 19校 [2024年度3学期]	2025年1月	須磨区8校 垂水区11校 (生徒数8,371人)	給食センター方式 ・第一学校給食センター
第3期: 19校 [2025年度1学期]	2025年4月	長田区6校 西区13校 (生徒数7,939人)	民間調理施設方式 ・(株)グルメサービス ・(株)コープフーズ
第4期: 33校 [2025年度3学期]	2026年1月	東灘区7校 (生徒数4,291人)	民間調理施設方式 ・(株)万福
		灘区5校 兵庫区5校 北区16校 (生徒数9,972人)	給食センター方式 ・第二学校給食センター

※生徒数は、2023年5月時点です。

中学校給食提供スケジュール

祭礼などの一時的に設置する広告物について条例改正を実現

・景観における祭礼の歴史的・文化的意義を考慮

祭礼は、地域固有の歴史や文化が感じられる「ハレ(非日常)」の景観を作り出しています。したがって、一時的(1週間程度までの期間)に旗ざおを設置するよう場合は、制限をするよりも、むしろなるべく広く認めていくことが望ましいといえます。

例えば、信号機や道路標識が見えなくなるような旗ざお等の設置は当然認められるものではありませんが、交通の安全と円滑を阻害しない範囲でガードレール等に設置するのであればこれを制限するまでの必要はないと考えます。

以上の事情を考慮し、条例第11条2項および3項を改正し、地域における祭礼等のため一時的に表示し、又は設置する広告物を、歩道の柵等の表示禁止物件に表示、設置できるようにします。

3. 施行予定

令和7年第1回定例会(2月議会)に条例改正議案を提出し、議決を得て令和7年4月施行予定

神戸市屋外広告物条例改正理由要旨



のぼり

改正前の条例は、祭礼時のぼりを掲げることが、可能であったが、設置可能場所(条例適用外)がなかったというチグハグな条例になっていた。地元の祭りの際に相談を受け、神戸市の条例内容や京都市など他都市も条例も確認。神戸市の条例が時代に合っていないことも併せて指摘。条例改正を実現

病児保育について

平野達司 指定都市トップレベルの24施設を整備しているが、いまだに兵庫区は未設置の状態。

子育て環境の地域格差を解消のために、兵庫区への新規整備を進めていただきたい。

KOBE



病児保育

中山こども家庭局長 病児保育事業は、医師会と連携し全て小児科医がいる医療機関併設型で実施。今年度も兵庫区の医療機関に対して開設を働きかけたが、協力いただける医療機関の確保に至っていない。令和7年度予算は、兵庫区での開設を含む新規整備2か所を計上、改めて兵庫区内の小児科医のいる医療機関に足を運び、粘り強く開設の働きかけを行い、未設置状況の解消に向けて取り組んでまいりたい。

平野達司 私も兵庫区医師会には、様々な場で直接要望を伝えている。あわせて兵庫区に小児科が、北東部(平野地区)、運南地区にない。そのために参入促進や事業継続を支援する補助制度の充実を求められる。令和7年度予算案では基本単価の引上げや複数の異なる感染症の児童受入れ施設の加算が新設されるが十分か、施設への補助含めお考えは?

中山こども家庭局長 病児保育は、感染症の流行やキャンセルが多く、運営が不安定になりやすく、特性上保育士の確保も難しい事業。国は令和3年度以降基本単価の引上げやキャンセル加算の新設など支援を強化しており、本市も独自の利用人数加算や保育士の処遇改善などの補助を行っている。

今後は、利用者を増やす広報や保育人材の確保の支援を進め兵庫区での開設も取り組んでまいりたい。

平野達司 兵庫区に病児保育ができるまで時間がかかる可能性も大きい。それまでの間の代替提案を是非検討いただきたい。例えば、ファミリーサポートの幼児保育版の導入。訪問型病児保育支援、またその利用料金の助成制度の導入など。併せて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にした上で予約まで完結できるシステム構築を検討いただきたい。

岩城こども家庭局副局長 まずは兵庫区を含む市内への新規整備と今ある施設の運営、利用しやすい環境整備にも取り組んでいきたい。また、予約システム等のさらなる改善も取り組んでいきたい。

予算特別委員会こども家庭局質疑20250310

産後ケア事業における利用者の利便性向上について

平野達司 産後ケア事業の利用者が急増し、今後も増加が見込まれる。しかし、市との連絡は「e-KOBE」施設の予約や空き状況の確認は個別に電話対応となっており、申請から予約調整まで一元的なシステムの導入が必要ではないか

中山こども家庭局長 産後ケア事業は、母親の心身の回復や育児支援を目的とし、神戸市では全国平均(1割)を大きく上回る3割が利用し、高い満足度を得ている。利用者増加に伴い、利便性向上が求められており、電子申請の導入

や申請受付の前倒し、2回目以降は直接施設に申し込める仕組みを改善予定。しかし、施設の空き状況確認には電話対応が必要など課題もある。今後は、利用申請から空き状況確認まで一括で管理できるシステムの導入を、施設の意見を聞きながら検討していく。

他に児童館における英語学習や国際交流について、親が子育てについて学ぶ場所(親のコーチング)についても質疑いたしました。

中学校 部活動の地域移行 コベカツ

少子化による生徒数減少により部活動の種目減や、活動の選択肢が少なくなる傾向にあり、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は、以前と大きく変わっています。

生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月に平日・休日ともに、「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々と共に、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。経済的な事情や活動地域の偏りなど関わらず充実した活動ができるよう引き続き議論していきます。

コベカツ一次募集結果はこちら
コベカツHP



神戸市議員
平野達司(たつじ)
事務所

神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP

神戸市会の本会議、
委員会をインターネットにて
閲覧できます。



神戸市会

予算特別委員会 経済観光局審査 (2025年3月6日) より 中央卸売市場での青果物の集荷促進について

平野達司 中央卸売

市場を取り巻く環境が変化、人口減少や取引の多様化による取扱量の減少、トラック輸送に関わる2024年問題の状況の中、(中央卸売市場は生産者から消費者をつなぐ流通の要)活性化には、生産(農漁業)・流通(卸・卸売市場)・消費(小売市場・商店街・大型食料品店・宿泊施設・観光)を一体的に連携させる重要性を昨年に続き継続質疑



広域物流拠点施策(中央卸売市場)

課題

- 神戸卸売市場への安定した出荷手段が必要
- 物流の課題(2024年問題への不安)
- 高齢化による生産・出荷負担の軽減が必要



予算特別委員会経済観光局質疑
20250306

水産鮮魚卸売場の場内照明設備について

平野達司 本場水産卸売場の場内照明設備が水銀燈・蛍光灯・さらに消えていることもある。LED化を早期に実施すべき

中尾中央卸売市場本場長 水産鮮魚卸売場の照明LED化の必要性は市としても当然認識している

鮮魚卸売場の照明のLED化にあたっては、照度、色の指定、スイッチのゾーニングを今年度より卸売事業者と協議を開始しており、令和7年の年度中には詳細な内容を決定したい、工事の概算金額を把握した上で必要な予算を確保し、早期のLED化を実現したい。

神戸市立中央卸売市場本場

1次産業について

平野達司 農業と比べ漁業に対する支援が手薄ではないか?

持続可能な漁業を推進するために、漁業の担い手確保や関係人口の増加に向けて市内外の周知、強化をすべきではないか?

植野担当局長 市としては引き続き地域の漁業の情報発信に努め、新規漁業就業者への支援も国の制度が活用できるよう地域の漁業協同組合等と連携して取り組んでいきたい。

平野達司 是非地元で使えるようにお願いしたい。特に水産庁が様々な制度を用意しているが、実態のところは全漁漁、県漁連がその補助を使っており地元がなかなか使えない。採択されてもなかなか継続的に使わせてもらえないことを現場で聞いている。水産庁の制度をうまく使える支援をお願いする。

ルミナリエの分散開催とヴィッセル神戸の提案について

平野達司 ルミナリエの分散開催の一環として、兵庫区・ノエビアスタジアムでの展示を提案。

大畑経済観光局長 ルミナリエは東遊園地や旧外国人居留地、メリケンパークなどで開催し、回遊性向上を図っている。ハーバーランドや新港町では地元事業者と連携し、イルミネーション事業を実施。今後も既存のライトアップイベントと協力し、PRや誘客を進めたい。兵庫区でも関連イベントがあれば積極的に連携

大畑経済観光局長

(来年度から以下を取り組む)

- 青果物の規格(サイズ・選別・色傷など)の簡素化→生産者の負担を減らし、生産拡大を促進
- 定期トラック便の運行→産地を巡回し、神戸中央卸売市場への安定的な物流の確保

まずは4tトラックで運行開始。市場全体の9万tに対しては小規模だが、安定した出荷先の確保と近隣産地の生産拡大につながる好循環を目指し進める。

平野達司 神戸での大型スーパー出店に対し中央卸売市場を介す取引量拡大のための働きかけについて

大畑経済観光局長 仲卸事業者の新規店舗出店情報を敏感に把握できることを呼びかけ取引につなげていく。新規出店事業者、新規開業、宿泊施設、スーパー、に具体的に訪問し、中央卸売市場の機能強みをPRし、新たな販売ルートに神戸中央卸売市場を経由した取引拡大に繋がる取り組みを行う

市場・商店街の暑さ対策について

平野達司 要望していた夏場の異常高温による暑さ対策、令和7年度から地域商業活性化支援事業の対象メニューに熱中症対策項目を加えたことと評価したい。ニーズのあったきめ細やかな支援をしていくべきだが見解を

井原経済観光局長 訪れる市民が快適かつ安全に過ごせるような環境を整えるということが重要

夏場に高温が常態化している状況を受けご指摘の通り来年度から地域商業活性化支援事業の補助対象事業に熱中症対策という項目を新たに付け加えた。

これに例えば休憩スペース整備やアーケードにミストを設置などにも補助をすることでより一層、市民に快適かつ安全に良い買い物を楽しんでもらえるような取り組みを支援するもの

スタートアップ企業を神戸に定着させるための取組について(2点)

平野達司 神戸のスタートアップを神戸に根付かせるために、スタートアップと地元企業との協業を促進するべき。また、神戸で人材育成(AI最先端の東大松尾研への人材派遣など)で他都市差別化をどのように図るのか

大畑経済観光局長 ① スタートアップの定着と企業連携

企業コラボの推進と新プログラムこれまでイノベーション創出(15社)、デザイン経営支援(36社)、オープンイノベーションマッチング(317社応募)などを実施し、着実に進展。2024年からは「KOBÉ BUSINESS PROGRAM So-I」として事業を統合し、行政課

を検討する。

平野達司 ヴィッセル神戸から相談があり、同チームは震災の年に誕生し、鎮魂の意味でもルミナリエと関係が深い。コロナ禍でルミナリエが中止の可能性があった際、ノエビアスタジアムでイルミネーションを実施した経緯もある。スタジアムや御崎公園での開催は新たな可能性を生むため、課題はあるがヴィッセル神戸と協議を進めていただきたいと要望

題の解決も含め、市内企業とスタートアップを一体的に支援。今後も協業を促進し、企業の高付加価値化とスタートアップの成長を支援する。

瀬合副局長 ②神戸での高度デジタル人材育成

日本のデジタル人材は世界67か国中最下位とされ、育成が急務。神戸では神戸大学のシステム情報学部新設など最先端の教育を推進。さらに、シンガポール拠点の活用や企業との共同研究を通じて、グローバルに活躍できる人材を育成し、他都市との差別化を図る。

湊川(パークタウン)に スタートアップ支援施設ができます

神戸で生まれたスタートアップ企業をもっと増やすために市内企業などと協力して、新しいファンドを作り、神戸独自のスタートアップ支援を続けるための新しい法人の設立を検討し、首都圏等で活躍する神戸ゆかりの経営者等とも連携しスタートアップ支援を強化していく施策のひとつです。
昨年質疑した神戸独自の神戸経済成長させるための施策のひとつが進みます。

ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局へ直接申入れ、お答えして参りました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するように求めました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。
今回は、令和7年第1回定例会市会を中心にご報告させていただきました。

高校生等の通学定期券補助

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

令和6年9月に拡充された補助額が、令和7年度よりさらに拡充されます

	令和6年9月～令和7年3月	令和7年4月～
神戸市内 の高校等に通学	通学定期代の 全額	通学定期代の 全額
神戸市外 の高校等に通学	月1万2000円を 超える額の半分	通学定期代の 半額
年齢要件	上限：満18歳となる年度	上限：満20歳となる年度



かなみ 要望 現在の補助額では、市外高校等の通学者にとって、交通費が依然として大きい状況。経済的理由により進学先の選択が制約されることのないよう、補助額のさらなる引上げを検討をお願いしました。

路上喫煙対策の強化

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて



【河南(かなみ)】

令和7年予算案において、屋内型喫煙所に係る維持管理費用に対して補助制度が拡大されたことは、これまで我が会派が要望してきたことであり、大変評価しています。一方で、**健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには**、さらなる分煙の徹底が重要と考えます。

三宮、元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区として指定し、指導員の巡回や、違反者から過料徴収を実施していますが、規制エリアは限定的であり、**喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないでしょうか。**

参考) 大阪市では、令和7年1月27日から、路上喫煙を禁止する区域を大阪市内全域に拡大

【今西副市長】

過料徴収という厳しい対策を行なっているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に行ない、路上喫煙対策に取り組んでいきたいと考えています。

神戸市の路上喫煙対策の取り組み

- ◎平成20年度より路上喫煙禁止地区を設け、違反者から過料徴収とともに公設喫煙所を設置
- ◎令和6年度、喫煙所の整備に向けた補助金制度を創設し、三宮地区において新たな喫煙所を2か所確保

かなみ たばこポイ捨て、路上喫煙対策に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

かなみ 実現! 大安亭市場 内の道路 凸凹解消へ

長年、地域と共に声をあげ続けていた【大安亭市場内の道路】に関して、ようやく令和7年3月14日から補修工事が始まりました。工事完了まで時間はかかりますが、安心・安全な道路環境へと改善が進み始めています。

工事計画

- ◎1～3の3工区に分ける
- ◎3工区を3カ年もしくは2カ年に分けて
- ◎令和7年3月に1工区の補修工事完了



道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のことまでぜひお聞かせ下さい。



神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かなみ ただかず 《中央区》

発行: 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かなみ市政報告vol.46 編集: 2025年(令和7年)3月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かなみ事務所】 〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com

料金別納
郵便

KOBE 中央区に
お住まいの
みなさまへ



神戸には 海と山 だけでなく 空もある!

令和7年2月25日の本会議で、令和7年度予算編成に込められた思いを神戸市に質問。久元市長より、神戸空港における国際チャーター便の運用開始により、神戸は新たな時代の国際都市としての可能性を手にすることができた。令和7年度は神戸2025ビジョンに掲げる施策を積極的に展開し、神戸が持つ可能性を開花させ、**海と山が育むグローバル貢献都市の実現**を確かなものにするための予算として編成したと、回答をいただきました。

私(かなみ)からは、以下、発言させていただきました。

「メリケンパークや摩耶山へ行くたびに思うのですが、空がものすごく広い!」

神戸には海と山だけではなく空もある。

神戸空港がこれから開いていくので、**海と山だけではなく、空につながる街というのを**入れていただきたい、ぜひ検討をお願いします」

神戸の広い「空」を通じて
神戸が世界と繋がりますように!



かなみ
発言



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

過去最大の市税収入 神戸市独自の減税等で、納税者の納得感は何かある?

エアライン誘致戦略は? 2030年頃の国際定期便就航に向けて

企画調整局に質問! 兵庫県・神戸市調整会議の意義について
企画調整局の主要施策について
外郭団体改革の推進について

◆新神戸駅前広場のデッキ新設

◆新たなロープウエー 新たな投資には、まずは数字をしっかりと固めて!

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かなみ ただかず 《中央区》

市政報告
vol.46

OPEN 開く

差出人: 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 神戸市役所1号館28階

市税収入について

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

【河南(かわなみ)】

過去最大の市税収入は、好調な個人消費や企業業績による影響だけではなく、これまでICT等を活用した利便性の向上の施策や効率的な執行体制の構築、滞納整理業務の推進による毎年度の収率率の向上などの取り組みを進めてきた成果の表れであると大いに評価しています。**持続可能な財政運営、安定的な財源の確保**に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

【野崎行財政局長】

生産年齢人口の減少が見込まれる中、引き続き組織のスリム化を図りながら、業務効率化あるいは課税捕捉の向上等に取り組む、今後も安定的な財源が確保できるよう、税務部一丸となって取り組んでいきたい。

【河南(かわなみ)】

本市独自の施策として収入額の一部を**減税**するなど、**納税者の理解、納得感を高めていくような視点**も必要ではないでしょうか。

【野崎行財政局長】

市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行なうということにつきましては、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。



令和7年度予算
市税収入は
過去最大の
3,314億円を計上

市役所の収入が増えるということは、市民の税負担が増えているということ。景気が良いとはいえますけれど、納税の書類を見るたび、げっそりしていらっしやる方も多いと思います。そういった面も心に入れて市政運営をお願いします。

かわなみ
要望

神戸空港国際化を踏まえた 国際都市の取り組み

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かわなみ)】

4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばなりません。**東南アジアのビジネス交流は非常に重要**で、東アジアだけではなく、東南アジアとの航空ネットワークの構築に積極的に取り組むことが求められていると考えます。**2030年頃の国際定期便の就航に向け**、どのような戦略をもって、エアライン誘致を進めていけるのでしょうか。



◎令和7年4月18日から国際チャーター便が解禁。韓国、中国、台湾の5都市と神戸を結ぶ便が週40便運航。スポットでベトナムへの運航も予定。

【久元市長】

ビジネス交流やインバウンド誘客を強化。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがあります。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備も進めます。国際定期便就航を見据え、新産業の育成や地元消費の拡大を図りたい。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいきます。



神戸空港国際化をきっかけとした神戸の成長に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

かわなみ
要望

官民連携による経済活性化の推進で、市としてさらなる機能強化と戦略的な取り組みを進めることを要望します。

企画調整局審査

令和7年2月28日 予算特別委員会
第1分科会(企画調整局)にて質疑



兵庫県・神戸市調整会議の意義について

私が副議長を務めさせていただいた際に、神戸市と兵庫県の県・市調整会議に出席をさせていただきました。県と市が各々の主要施策を披露、資料説明に終わり、実のある意見交換はないまま全体的に予定調和に終わった印象を受けました。県・市調整会議で、市当局として何を期待し、どういった目的を持って開催されているのでしょうか。



企画調整局の主要施策について

企画調整局は重要施策の企画立案や総合調整機能を担っており、全市の施策を先導するような部局であると認識しています。しかし、令和7年度予算において企画調整局の主要施策には新規施策が掲げられておらず、物足りない印象を受けますが。



外郭団体改革の推進について

令和6年度、外郭団体に関する特別委員会の委員を務めました。団体ごとの運営実態や事業効果に関する審議を行うことは重要と感じる一方で、その場は個々の団体に関する議論にとどまっているという思いもあります。経営の合理化を図るためにも、外郭団体の見直しを総括する企画調整局において、団体共通の課題を横断的に検討することが極めて重要であろうと考えますが、いかがでしょうか。

【以下、辻企画調整局長より回答】

知事や県会議長の話を聞ける貴重な場。会議の開催にあたり、各議題の所管部局同士でコミュニケーションも取れるよい機会になっています。**資料の説明時間を最小限にし意見交換の時間を十分に設けて開催**できるように、県と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和7年度においては、広報戦略部と秘書課は企画調整局の方に移管、地域再生担当局長も新設となります。**コントロールタワーとしての機能を強化**していくと、官房的な機能を強化していくことだと思いますので、全庁挙げて活発な議論を行い、**骨太の新規施策を立案**できるような形で取り組んでいきたい。

類似の事業や、共同実施が可能なものについて、課題が見えてきたところ。人材の獲得やDX化など、**外郭団体を取り巻く経営環境が今後厳しくなっていくと想像され、経営改革には不断の努力が求められます**。外郭団体の存在目的やミッション、達成状況をチェック、全市的、包括的な俯瞰もしながら、推進本部企画調整局が中心となり見直しに取り組みが重要だと考えています。



本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます

かわなみ忠和 検索



令和7年2月25日
本会議代表質疑にて

自由民主党神戸市議員団・無所属の会 かわなみ市政報vol.46 編集:2025年(令和7年)3月



かわなみ注目
今後は
気になる!

新たな投資には まずは数字をしっかりと固めて! と要望

令和7年3月5日 予算特別委員会 第1分科会(都市局)にて質疑

新神戸駅前広場の デッキ新設について

デッキの新設で、人が行き交い、憩い、にぎわいを創出する拠点にしていこうとありますが、乗降客の動線は地下鉄に向かう人が多く、デッキが十分に生かしきれないのでは?と不安があります。新神戸駅の活性化については、デッキの計画のみならず、都心に向かう地下鉄への動線、「コトノハコ」エリアやロープウェイの活性化、北野への動線などが大切です。**デッキの新設に終わらず、この周辺の事業を行って何人乗降客が増えるのかという数字の面を固めて**、民間から投資が行われ、新神戸駅周辺が活性化されるような事業を進めていただきたいと要望しました。

かわなみ
要望

六甲山・摩耶山上へのアクセス ハーブ園山頂駅と掬星台を結ぶ 新たなロープウェイについて

新たなロープウェイについて、実現可能性の検討・調査を行うとのことですが、まやびゅうラインが年間約9万人の乗客数である中、提案のあった新ロープウェイに年間約30万人の乗客に利用いただくのはハードルが高いのではないかと感じています。新ロープウェイへの**新たな投資に向けては、需要予測と事業費・運営費の精査を行い、採算性を確認した上で**事業に着手する必要があると考えますが。

【山本都市局長】

令和7年度は導入の可能性の検討を行うこととしています。事業性についても、ロープウェイ事業の実績のある民間事業者などにヒアリングを行う予定。その上で、事業実施に進む段階となれば、しっかりとその時点において事業性の検討を慎重に行ってまいりたい。



山の上に人を呼び込む
新たなコンテンツも必要では?

高校生等の通学定期券補助

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

令和6年9月に拡充された補助額が、令和7年度よりさらに拡充されます

	令和6年9月～令和7年3月	令和7年4月～
神戸市内 の高校等に通学	通学定期代の 全額	通学定期代の 全額
神戸市外 の高校等に通学	月1万2000円を 超える額の半分 拡充	通学定期代の 半額
年齢要件	上限：満18歳となる年度 引き上げ	上限：満20歳となる年度



現在の補助額では、市外高校等の通学者にとって、交通費が依然として大きい状況。経済的理由により進学先の選択が制約されることのないよう、補助額のさらなる引上げを検討をお願いしました。

路上喫煙対策の強化

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて



【河南(かわなみ)】

令和7年予算案において、屋内型喫煙所に係る維持管理費用に対して補助制度が拡大されたことは、これまで我が会派が要望してきたことであり、大変評価しています。一方で、**健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには**、さらなる分煙の徹底が重要と考えます。

三宮、元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区として指定し、指導員の巡回や、違反者から過料徴収を実施していますが、規制エリアは限定的であり、**喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないでしょうか。**

参考)大阪市では、令和7年1月27日から、路上喫煙を禁止する区域を大阪市内全域に拡大

【今西副市長】

過料徴収という厳しい対策を行なっているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に進め、路上喫煙対策に取り組んでいきたいと考えています。

神戸市の路上喫煙対策の取り組み

- ◎平成20年度より路上喫煙禁止地区を設け、違反者から過料徴収とともに公設喫煙所を設置
- ◎令和6年度、喫煙所の整備に向けた補助金制度を創設し、三宮地区において新たな喫煙所を2か所確保



たばこポイ捨て、路上喫煙対策に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

かわなみ 実現! 大安亭市場 内の道路 凸凹解消へ

長年、地域と共に声をあげ続けていた【大安亭市場内の道路】に関して、ようやく令和7年3月14日から補修工事が始まりました。工事完了まで時間はかかりますが、安心・安全な道路環境へと改善が進み始めています。

工事計画

- ◎1～3の3工区に分ける
- ◎3工区を3カ年もしくは2カ年に分けて
- ◎令和7年3月に1工区の補修工事完了



道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のことぜひお聞かせ下さい。

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ ただかず
《中央区》

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.46/タウンプラス版 編集：2025年(令和7年)3月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かわなみ事務所】〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com



料金別納

タウンプラス

KOBE 中央区に
お住まいの
みなさまへ



神戸には
海と山
だけでなく **空** もある!

かわなみ
発言



令和7年2月25日
本会議代表質疑にて

令和7年2月25日の本会議で、令和7年度予算編成に込められた思いを神戸市に質問。久元市長より、神戸空港における国際チャーター便の運用開始により、神戸は新たな時代の国際都市としての可能性を手にすることができた。令和7年度は神戸2025ビジョンに掲げる施策を積極的に展開し、神戸が持つ可能性を開花させ、**海と山が育むグローバル貢献都市の実現**を確かなものにするための予算として編成したと、回答をいただきました。



私(かわなみ)からは、以下、発言させていただきました。

「メリケンパークや摩耶山へ行くたびに思うのですが、空がものすごく広い!」

神戸には海と山だけではなく空もある。

神戸空港がこれから開いていくので、

**海と山だけではなく、空につながる街というのを
入れていただきたい、ぜひ検討をお願いします」**



神戸の広い「空」を通じて
神戸が世界と繋がりますように!

過去最大の市税収入

神戸市独自の減税等で、
納税者の納得感は何がある?

エアライン誘致戦略は?

2030年頃の
国際定期便就航に向けて

企画調整局に質問!

兵庫県・神戸市調整会議の意義について
企画調整局の主要施策について
外郭団体改革の推進について

◆新神戸駅前広場のデッキ新設

◆新たなロープウエー 新たな投資には、
まずは数字をしっかりと固めて!

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ ただかず
《中央区》

市政報告
vol.46

OPEN 開く

差出人：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 神戸市役所1号館28階

市税収入について

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

【河南(かわなみ)】

過去最大の市税収入は、好調な個人消費や企業業績による影響だけではなく、これまでICT等を活用した利便性の向上の施策や効率的な執行体制の構築、滞納整理業務の推進による毎年度の収納率の向上などの取り組みを着実に進めてきた成果の表れであると大いに評価しています。**持続可能な財政運営、安定的な財源の確保**に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

【野崎行財政局長】

生産年齢人口の減少が見込まれる中、引き続き組織のスリム化を図りながら、業務効率化あるいは課税捕捉の向上等に取り組み、今後も安定的な財源が確保できるよう、税務部一丸となって取り組んでいきたい。

【河南(かわなみ)】

本市独自の施策として収入額の一部を**減税**するなど、**納税者の理解、納得感を高めていくような視点**も必要ではないでしょうか。

【野崎行財政局長】

市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行なうということにつきましては、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。



令和7年度予算
市税収入は
過去最大の
3,314億円を計上

市役所の収入が増えるということは、市民の税負担が増えているということ。景気が良いとはいいますが、納税の書類を見るたび、げっそりしていらっしやる方も多いと思います。そういった面も心に入れて市政運営をお願いします。

かわなみ
要望

かわなみ注目
今後は
気になる!

新たな投資には まずは数字をしっかりと固めて!と要望

令和7年3月5日 予算特別委員会 第1分科会(都市局)にて質疑

新神戸駅前広場の デッキ新設について

デッキの新設で、人が行き交い、憩い、にぎわいを創出する拠点にしていこうとありますが、乗降客の動線は地下鉄に向かう人が多く、デッキが十分に生かしきれないのでは?と不安があります。新神戸駅の活性化については、デッキの計画のみならず、都心に向かう地下鉄への動線、「コトノハコ」エリアやロープウェイの活性化、北野への動線などが大切です。**デッキの新設に終わらず、この周辺の事業を行って何人乗降客が増えるのかという数字の面を固めて**、民間から投資が行われ、新神戸駅周辺が活性化されるような事業を進めていただきたいと思います。

かわなみ
要望

六甲山・摩耶山上へのアクセス ハーブ園山頂駅と掬星台を結ぶ 新たなロープウェイについて

新たなロープウェイについて、実現可能性の検討・調査を行うとのことですが、まやビュラインが年間約9万人の乗客数である中、提案のあった新ロープウェイに年間約30万人の乗客に利用いただくのはハードルが高いのではないかと感じています。新ロープウェイの**新たな投資に向けては、需要予測と事業費・運営費の精査を行い、採算性を確認した上で事業に着手**が必要があると考えます。

【山本都市局長】

令和7年度は導入の可能性の検討を行うこととしています。事業性についても、ロープウェイ事業の実績のある民間事業者などにヒアリングを行う予定。その上で、事業実施に進む段階となれば、しっかりとその時点において事業性の検討を慎重に行ってまいりたい。

山の上に人を呼び込む
新たなコンテンツも必要では?

神戸空港国際化を踏まえた 国際都市の取り組み

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かわなみ)】

4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばなりません。**東南アジアのビジネス交流は非常に重要**で、東アジアだけではなく、東南アジアとの航空ネットワークの構築に積極的に取り組むことが求められていると考えます。**2030年頃の国際定期便の就航に向け**、どのような戦略をもって、エアライン誘致を進めていかれるのでしょうか。



◎令和7年4月18日から
国際チャーター便が解禁。
韓国、中国、台湾の5都市と
神戸を結ぶ便が
週40便運航。
スポットでベトナムへの
運航も予定。

【久元市長】

ビジネス交流やインバウンド誘客を強化。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがあります。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備を進めます。国際定期便就航を見据え、新産業の育成や地元消費の拡大を図りたい。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいきます。



神戸空港国際化をきっかけとした神戸の成長に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

かわなみ
要望

官民連携による経済活性化の推進で、市としてさらなる機能強化と戦略的な取り組みを進めることを要望します。

企画調整局審査

令和7年2月28日 予算特別委員会
第1分科会(企画調整局)にて質疑



兵庫県・神戸市調整会議の意義について

私が副議長を務めさせていただいた際に、神戸市と兵庫県の県・市調整会議に出席をさせていただきました。県と市が各々の主要施策を披露、資料説明に終わり、実のある意見交換はないまま全体的に予定調和に終わった印象を受けました。県・市調整会議で、市当局として何を期待し、どういった目的を持って開催されているのでしょうか。



企画調整局の主要施策について

企画調整局は重要施策の企画立案や総合調整機能を担っており、全市の施策を先導するような部局であると認識しています。しかし、令和7年度予算において企画調整局の主要施策には新規施策が掲げられておらず、物足りない印象を受けますが。



外郭団体改革の推進について

令和6年度、外郭団体に関する特別委員会の委員を務めました。団体ごとの運営実態や事業効果に関する審議を行うことは重要と感じる一方で、その場は個々の団体に関する議論にとどまっているという思いもあります。経営の合理化を図るためにも、外郭団体の見直しを総括する企画調整局において、団体共通の課題を横断的に検討することが極めて重要であろうと考えますが、いかがでしょうか。

【以下、辻企画調整局長より回答】

知事や県会議長の話を聞ける貴重な場。会議の開催にあたり、各議題の所管部局同士でコミュニケーションも取れるよい機会になっています。**資料の説明時間を最小限にし意見交換の時間を十分に設けて開催**できるように、県と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和7年度においては、広報戦略部と秘書課は企画調整局の方に移管、地域再生担当局長も新設となります。**コントロールタワーとしての機能を強化**していくと、官房的な機能を強化していくことだと思いますので、全庁挙げて活発な議論を行い、**骨太の新規施策を立案**できるような形で取り組んでいきたい。

類似の事業や、共同実施が可能なものについて、課題が見えてきたところ。人材の獲得やDX化など、**外郭団体を取り巻く経営環境が今後厳しくなっていく**と思われ、**経営改革には不断の努力が求められます**。外郭団体の存在目的やミッション、達成状況をチェック、全市的、包括的な俯瞰もしながら、推進本部企画調整局が中心となり見直しに取り組みが重要だと考えています。

本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます
自由民主党神戸市議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.46 編集:2025年(令和7年)3月

かわなみ忠和 検索



令和7年2月25日
本会議代表質疑にて

郵便はがき



自由民主党神戸市会議員団

神戸市会
議員

うえはた
上 畠 の り ひ ろ



神戸市政
報 告

↑
に対する政策提言・市政相談はこちらまで

高市早苗大臣に 特別市法制化を提言!



政令指定都市は神戸市を含め20市あります。その存在は経済圏としては勿論のこと、政令市の存在は周辺自治体にも好影響があります。神戸市も芦屋市のごみ処理や明石市への水道管利用など周辺自治体にも役立ち、手数料収入で神戸市としての収益増や福祉の向上を目指しています。神戸市が特別市となることはより神戸市が日本国民たる神戸市民の皆様の福祉向上に資することにつながり、国家のエンジンとしての更なる飛躍につながります!

発行：自由民主党神戸市会議員団(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階)

TEL: 078-322-5846 FAX: 078-330-0239

E-mail: uehata.kobe.japan@gmail.com

高市早苗 国務大臣に対して 外国人生活保護の廃止を要請!

中国領事館が中国人の生活保護について 神戸市に要求する実態が明らかに!

神戸市の外国人生活保護だけでも約59億円にのぼります。最高裁判決では外国人は生活保護法の対象外と明確になりました。中国領事館は大国であるにも関わらず、自国民の生活保護を一自治体である神戸市に要求している実態について上畠のりひろが議会の追及で明らかにしました。生活保護は私達日本国民のための制度です。在日中国人の保護は中国政府の出先機関である中国大使館や領事館が保護すれば良いことです。日本国民の血税を使って保護する必要はありません。しかし、厚生省の通知が原因で未だに支払われています!



自由民主党神戸市会議員団は外国人生活保護の 廃止実現の為、通知見直しを国に要求するよう 神戸市に正式に要請!

私はこれまで外国人生活保護の問題について議会で何度と取り上げて参りました。しかし、外国人生活保護を廃止にする為には多くの方々に知って頂き、外国人生活保護の廃止を求める世論喚起が必須です。皆様もお近くの市議会議員はじめ県議会議員や国会議員にも声を届けて下さい!

どのような些細な
ことでも結構です。
ご意見やご相談は

神戸市会
議員

うえはた
上 畠 の り ひ ろ

まで
お寄せください。



神戸空港の国際線が運航スタート

令和7年4月18日(金)より、神戸空港の国際線の運航が開始されます。
韓国・中国・台湾に航空会社4社が計5路線を開設して、
週40往復を運航します。



国際線の開設によりインバウンド観光の拡大が見込まれ観光業がさらなる成長を遂げると期待されています。また今回の国際化をきっかけに、国際航空貨物の取り扱いが実現すれば神戸市のさらなる貿易促進にも寄与できると考えております。

▼第2ターミナルビル(イメージ)

▼神戸空港全景(イメージ)



令和7年度予算を可決しました。

※一部要旨

TOPICS 1 神戸ならではの子育てが楽しめる環境づくり

拡充 児童館のさらなる活用

6.16億円



全児童館に常勤の「子育てチーフアドバイザー」を引き続き配置し、子育て相談に常時対応。また、新たにネイティブレベルの人材を派遣し英語学習や国際交流に触れる機会を提供する。

TOPICS 2 子育て世帯の経済的負担の軽減

拡充 高校生等の通学定期券補助

22.71億円

↓市内の高校等に通学する場合
2024年9月から、通学定期代を
全額補助(無料化)

↓市外の高校等に通学する場合
2025年4月から、通学定期代を
半額補助まで拡充

	年間の通学定期代
現在	144,000円
	←この半額が助成→
4月から	年間の通学定期代
	←この半額が助成→

TOPICS 3 地域とともにつくる開かれた学校

新規 「[KOBE◆KATSU]」の推進(中学校部活動の地域移行)

6.145億円・別途2月補正8.73億円

少子化による活動種目減や価値観の多様化、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は以前と大きく変わっています。活動時間や日数も限られたものとなり、選択肢も少なくなっています。生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月から「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々とともに、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。地域的、あるいは経済的な事情に関わらず子供たちが希望する活動ができるよう引き続き議論していきます。



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会



活動だより

令和6年度の議会活動を中心に報告いたします

※各議員の2次元コードより、自民党プロフィールサイトをご覧いただけます。

灘区

浅井 みか

tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548
 asaimika.kobe@gmail.com



▲令和6年9月
 予算特別委員会にて

猛暑下でも水泳授業数の確保へ 民間プール活用拡大実現！

【(浅井質疑に対する)部長答弁】本市の水泳授業において、よりよい教育環境の確保、教職員の負担軽減につながるよう、現在の3校での取組はしっかりと継続し、他都市の取組状況も注視しながら課題を1つ1つ整理し、民間プールのさらなる活用について検討を進めてまいります。⇒検討の結果、一歩前進◎
 【令和7年度、原田中学校のプール授業において民間プールの利用開始予定！】

北区

五島 だいすけ

tel.078-322-5846 fax.078-322-5548
 mail@goto-daisuke.net



▲令和7年3月5日(水)
 予算特別委員会 教育委員会審査にて

部活動地域移行 来年9月に期限を切るのは時期尚早

子供本位の地域移行ができているのか甚だ疑問、今年入学する子供に種目や場所・会費などが全く見えず、移行時に選んだ活動を継続できるか保証がない。引き続き指導した教員には地域移行後の参加を認め、指導に対する対価をしっかりと払うべきだ。移行期間を短く取る事については弊害しかない。準備できた活動から移行するようにするべきだ。

垂水区

しらくに 高太郎

tel.078-704-6060 fax.078-709-5252
 info@shirakuni.net



▲令和7年2月19日(水)
 教育子ども委員会にて

部活動の教育的意義を継承し、 意欲ある教員は続けるべき

部活動の地域移行「コベカツ」については、現場視察もしながら、豊かな人間関係を築き、自己肯定感や責任感、連帯感の涵養に資するなど人間形成の場としての役割を果たした部活動の教育的意義を継承させ、子供たちの健やかな成長を願って、この問題には向き合っています。また、教員の勤務校外での活動という運用も、柔軟に対応するよう強く要請しています。

東灘区

副幹事長

うへはた のりひろ

tel.050-3573-1204 fax.078-330-0239
 uehata.kobe@gmail.com



▲総務財政委員長として
 委員会報告

強制的親子別姓制度 (夫婦別姓)に反対！

各地の弁護士会が組織的に全国で夫婦別姓実現を求める意見書の提出を求める趣旨の陳情を提出しています。夫婦別姓は強制的親子別姓です。神戸市会にも陳情は提出され、共産・立憲・公明が賛成し、私達自民党は反対で可否同数に。私は総務財政委員長として委員長職権で陳情採択を阻止(反対)、本会議では坊議長が議長採決で反対し、夫婦別姓制度の意見書を阻止しました。

中央区

河 南 忠 和

tel.078-806-8633 fax.078-806-8653
 kobe.kawanami@gmail.com



▲令和7年2月27日(木)
 第1分科会 行政政局にて

過去最大の市税収入なので、 神戸市独自の減税はできないのか？

【野崎局長】市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行うということにつきましても、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。

北区

政調会長

う え な か 雅 子

tel.078-583-8060 fax.078-583-4696
 uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp



▲令和7年3月10日(月)
 予算特別委員会 環境局審査にて

再生可能エネルギーの 今後について

市で進めようとしている、自然破壊とは無縁のペロブスカイト太陽電池の導入実証は、実証にとどまらず、再生可能エネルギー導入促進の切り札として、設置を早急に進めていただきたい。ペロブスカイトによる営業型発電やメタネーション技術、水素プロジェクト等のあらゆる新技術を取り入れ、2050年カーボンニュートラル達成に向けて、積極的な取り組みを！

西区

坊 池 正

tel.078-965-0400
 bouike@nifty.com



▲令和6年9月27日(金)
 決算特別委員会にて

児童館 全館で子育て相談ができる！

●児童館「子育てチーフアドバイザー」全館設置、子育て相談10歳～18歳まで使える施設に！ ●要介護者等でない方のリハビリジムを！ ●心疾患 / 呼吸器疾患専門リハビリ病院とは！？ ●能登半島地震を踏まえ大災害への備えは大丈夫か？ ●災害時20万人/3日間を想定した備えは大丈夫！？ ●自分・家族構成に合った備蓄を簡単チェック！ ●「#7119」は病気やケガの症状を把握し適切な案内ができるか？

東 灘 区

副政調会長

大野 陽平



tel.078-851-6996 fax.078-854-2300
 ☞ yohpei@hono11@gmail.com



▲令和7年3月7日(金)
 予算特別委員会 交通局審査にて

市バス路線を廃止する前に、 乗り支えに繋がる取り組みを!

独立採算が原則のバス事業者の事情はあるものの、突如廃止を表明されると利用者は大変困ります。コープこうべが行っている買い支えに繋がる取組を参考に、廃止する前に乗って支えてもらえる取組を行うべきと質疑。局長からは廃止の6カ月前程に利用状況や存続に必要な基準をお知らせすること。地域の方に乗って支えてもらえるような進め方を検討すると答弁をいただきました。

灘 区

幹事・広報

吉田 健吾



tel.078-861-5566 fax.078-861-3456
 ☞ gogo@yoshidakengo.jp



▲令和7年3月7日(金)
 予算特別委員会 危機管理室・消防局審査にて

地域住民による円滑な 避難所開設の初動対応について

令和4年に質疑した円滑な地域による避難所開設に対して、この度、避難所開設運営マニュアルの簡素化、開設手順シートの作成、開設キットの設置が実施されます。避難所健渡しもキーボックス対応になり、地域の負担軽減と防災力向上に期待しています。新しい手順シート等での訓練と、広く市民に避難所運営について理解してもらえるような対応も要望しています。

兵 庫 区

副政調会長

平野 たつじ



tel.078-531-8780 fax.078-531-5301
 ☞ th.tatsuji.hirano@gmail.com



▲令和7年3月6日(木)
 予算特別委員会 経済観光局審査にて

生産・流通・消費連携で 中央卸売市場の集荷強化をすべきでは

【局長答弁】 経済観光局は、生産・流通・消費を一体化した政策を推進。市内小売店や宿泊施設等からは中央市場との継続取引や地産地消の要望、生産者や卸売業者からは輸送手段や生産者負担軽減が課題。そのため来年度は青果物の規格(サイズ・選別・色傷)の簡素化と定期トラック便の運行で生産拡大と市場物流強化を図る。安定した出荷先を確保し、地域生産の好循環を生み出すことを目指す。

北 区

全国市議会議長会会長 市会議長

坊 やすなが



tel.078-983-1711 fax.078-983-1719
 ☞ yasunaga.bo@gmail.com



▲令和6年12月11日(水)
 兵庫県立神戸平北高等学校における主権者教育の実践

将来の日本を担う子供達へ 主権者教育を全国的に実施へ!

地方議会の理解を深め、将来の地方議会を担う人材を育成するため、全国市議会議長会会長として、全国都道府県議会議長会会長並びに全国町村議会議長会会長に主権者教育を推進していくことを提案しました。子供たちに対する主権者教育の取組を地方議員自らが先頭に立って推進することを、三議長会が揃って決議し、全国規模でその取り組みをスタートさせました。

長 田 区

団長

平井 真千子



tel./fax.078-643-0647
 ☞ machiko.h@earth.ocn.ne.jp



▲令和7年3月6日(木)
 経済観光局審査にて

観光で活気を呼び込み 文化の力で街を育てる施策を質疑

文化スポーツ局には青少年科学館のリニューアルについて、また地下鉄海岸線駅での作品展示による若手アーティスト支援などについて質疑。経済観光局には漁港や食文化を活用した長田区南部への観光誘客、須磨シーワールドの魅力向上、小売市場支援などについて質しました。神戸空港の国際化を契機に観光の強化が必要です。また、地域の宝である産業や商店街・小売市場の魅力、地域に根差したアーティストに光を当てたいと取り組んでいます。

須 磨 区

松本 しゅうじ



tel.078-795-9069 fax.078-795-9090
 ☞ matsujimin2@gmail.com



▲令和6年12月5日(木)
 一般質問・本会議にて

都市公園条例の規制緩和による 青少年スポーツの育成を!

本市の都市公園条例に於いては車両乗り入れが禁止されており、運動前後にグラウンド整備を行う際トンボを使い人の手で整備する必要があり、雨が降った翌日などは大変な作業が生じている、この規制のため安全なスポーツ活動の妨げになり車両乗り入れを一律禁止するのではなく、緩和条件を設け条例改正をすべきと提案し結果、安全面での一定条件を設けて乗り入れる許可を実現した。

西 区

幹事・会計

山口 由美



tel./fax.078-777-6933
 ☞ yamaguchi@yumiguma.com



▲令和7年3月7日(金)
 予算特別委員会 消防局審査にて

神戸に生まれた子どもの命を守る 新生児搬送について

県立こども病院が行っている重症児の新生児搬送は、神戸市の救急業務の負担を軽減しており、子どもの命を守るだけでなく、後遺症の軽減にも貢献していただいている。消防局としても、こども病院の搬送が維持できるように、明石市の事例を参考に協力を検討してほしい。

西 区

山下 てんせい



tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849
 ☞ https://www.yamashita-tensei.com



▲令和7年2月27日(木)
 予算特別委員会 建設局審査にて

共用下水道の維持管理について 質問しました

埼玉県八潮市において発生した下水道管破裂による道路陥没事故を受けて、下水道管の安全点検や日ごろの確認の重要性を実感します。自治会などでも一度、マンホールを開け、水がしっかり流れているかチェックしてみてください。もし何か問題があったら建設局にご相談を!私道共同排水設備の修繕工事にかかる補助金制度も、令和7年度から制定されました。



令和7年2月議会 3名代表質疑を行いました

※一部要旨



質疑者

かわ なみ ただ かず
河南 忠和



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

神戸空港国際化を踏まえた取り組みについて



4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばならない。どのような戦略を持って取り組んでいくのか？ 東南アジアのビジネス交流は非常に重要で、どのようなエアライン誘致戦略を進めていくのか？



【久元きょう市長】ビジネス交流やインバウンド誘客を強化する。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがある。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備を進める。国際定期便就航を見据え新産業育成や地元消費拡大を図る。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいく。

質疑者

山下 てんせい



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

オーガニックビレッジ宣言について



2024年10月に行ったオーガニックビレッジ宣言について、多くの市民や農業従事者への認知や正しい方針が伝わっていないという印象を受けた。そこで市としての思いや今後の方針、目標を伺う。



【久元きょう市長】御指摘は全くそのとおりだと思う。宣言だけでも何の意味もなく、これに魂を入れないといけない。
【今西副市長】神戸市はこれまでも環境負荷低減の取り組みを行ってきた。令和5年にはJAや市内有機農業者と、KOBEオーガニック推進協議会を立ち上げ、有機農産物の生産、消費拡大に取り組んできた。こうべ再生リンや、市内産堆肥を使った地域資源循環型農業、また協議会の取り組みの成果を、オーガニックビレッジ宣言として公表した。今後はBE KOBE農産物の生産拡大や認知度の向上に努めたい。

質疑者

吉田 健吾



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

児童虐待死事案を二度と起こさないための対応策再構築について



令和5年度に西区で発生した児童虐待死事案の検証委員会の報告書が提出されたが、非常に厳しい内容であった。議会としても、「神戸市子どもを虐待から守る条例」を検証する必要がある。継続した虐待対応の状況把握、定期的な検証、その結果から改善することが必要である。また、第三者評価を受けて、対応の質を担保することや、虐待の連鎖を断ち切るために、加害者への聴取や、背景の把握などに努めていただきたい。



【久元きょう市長】児童相談所、区役所だけではなく、庁内の幅広い関係部署で協議、対応していく必要がある。虐待対応状況に関する定期的な検証も有効で、検証結果が業務改善に繋がるよう努める。痛ましい事案が再び繰り返されないよう子どもの安全確保と権利擁護を最優先し、全力で取り組んでいく。

令和7年3月13日 木 総括質疑

※一部要旨

1＞新都市整備事業会計の総括

【平井】「新都市整備事業会計によって借金が残った」という誤った印象があるが、空港島の造成に係る企業債は、空港島の売却益を充当せずとも、新都市整備事業会計全体の利益で完済できたため、借金を残すどころか、将来に活用可能な67.9haの土地を資産として残すことができた。今後、土地活用によって生じる利益についても活用策を検討すべきと考えるがどうか。

【答弁】新都市整備事業会計の事業利益から一般会計に繰り出しを行い、復興事業などにも役割を果たしてきた。空港島の土地は需要にも柔軟に対応できるような売却のみでなく賃貸借など柔軟に活用を進める。

2＞神戸空港の国際化を踏まえた観光施策

【平井】国際化した神戸空港が通過点で終わることの無いよう、観光施策の強化が必要だ。神戸港ウィークエンド花火を毎週末開催することや、1000万ドルの夜景を海から楽しむための遊覧船の航行、新たな海上交通など検討するべきではないか。

【答弁】4月にはジューライオンアリーナの開業に合わせた花火、夏には週末花火の拡充なども検討している。10月の大みなと花火や12月のライトフェスティバル、ルミナリエやバレンタインライトアップなどで年間を通じた賑わい創出事業も実施する。ウォーターフロントと淡路島などを結ぶ海上ツアーの造成、瀬戸内クルーズの更なる充実に取り組む。

3＞ユニバーサルツーリズムの推進

【平井】年齢や障害の有無を問わず、誰もが観光を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」は全国に先駆けて神戸が始めた。「どこでも車いす」は貸し出し拠点の拡充が求められるが、民間法人だけで実施するには困難が生じており、市が積極的に関与していくべきではないか。

【答弁】民間企業や団体と連携し、神戸どこでも車椅子の利便性を高める方策について積極的に検討していきたい。

その他、●コベカツへの教員の参画と市民周知 ●学校行事における国歌斉唱・国旗掲揚 ●私立幼稚園における特別支援教育 ●森林保全の推進 ●防災庁舎の誘致 ●印刷物発注における著作権の扱いについて質疑しました。



▲令和7年3月13日(木) 総括質疑にて





自由民主党神戸市会議員団 **神戸市会議員**
うへはたのりひろ 神戸市政報告
に対する政策提言・市政相談はこちらまで➡



高市早苗大臣に神戸市政に係る要望・提言!



- 1 神戸市の地場産業である平和に貢献する防衛産業の活性化と防衛装備の輸出促進
- 2 神戸港の保税工場を認め、輸入品の非関税を維持のまま加工製造する輸出体制の実現
- 3 大阪湾岸線西伸部延伸の早期実現
- 4 再エネ賦課金廃止とメガソーラー規制
- 5 原子力発電の活用と人材育成研究の促進
- 6 プラスチックごみのサーマルリサイクル推進
- 7 法の対象外である外国人生活保護廃止 等

発行

自由民主党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階

TEL. 078-322-5846

FAX. 078-330-0239

Email: uehata.kobe.japan@gmail.com

政令指定都市は国家のエンジン! 特別市で更なる飛躍へ

**高市早苗国務大臣に対して
特別市法制化を要請**

政令指定都市は神戸市を含め20市あります。その存在は経済圏としては勿論のこと、周辺自治体にも好影響があります。神戸市も芦屋市のごみ処理連携や明石市への神戸市の水道管を利用した送水、三田市民病院との再編統合など周辺自治体との連携を行っています。なぜ他市のことを神戸市がしなくてはならないのか?と疑問に思われるかもしれません。例えば、芦屋市との連携についてですが現在の神戸市のごみ処理施設は余裕があります。この余裕分を無駄にすることなく芦屋市のごみを受け入れることで神戸市は現在ゴミを燃やして発電している中、芦屋市からごみ処理手数料を得て、更には発電量を増加させて現在15億円近い売電収入を更に増やすこととなり、神戸市にも大きなメリットがあります。他市からの手数料収入確保や地域医療の発展など神戸市の収益増や福祉向上につながります。神戸市は元々政令指定都市なので国とも直接やりとりを行い、神戸市における兵庫県の役割はほんの僅かです。神戸市民が納めている税金に対して兵庫県が神戸市に還元する割合はごく僅かであります。兵庫県の役割を神戸市が担い、特別市となることは日本国民たる神戸市民の皆様の福祉向上に資することへつながり、国家のエンジンとしての更なる飛躍につながります。高市早苗大臣は特別市の法制化に向けて全面的な協力と法制化に向けて取り組む旨確約をして下さいました。



どのような些細なことでも結構です! ご意見やご相談は

神戸市会議員

うへはたのりひろ

まで
お寄せください。



神戸市の新年度 予算総額1兆9270億円を審議!

上畠のりひろは予算特別委員会の質疑に連日登壇し、様々な事項を質疑。北朝鮮による拉致事案には神戸市にも有本恵子さん、田中実さんのお二人の拉致被害者がいらっしゃいます。お二人を踏まえて、質疑したところ、拉致被害者のお二人の氏名は選挙人名簿や住民票、戸籍にも掲載されていると認め、当然のことながら今も日本国民たる神戸市民であることを改めて確認!お二人は元神戸市民ではなく私達と同じ神戸市民であり、現在も北朝鮮の戦争行為に匹敵する主権侵害である拉致が継続する現状を真剣に受け止めなく

てはならず、あらゆる手段をもって奪還することが必要です。次に中国にある神戸市上海事務所について不祥事や中国人職員の不正経理も発生したこともあり、自由と人権もない中国からの脱中国も踏まえて撤退を要求し続け神戸市は令和6年3月中に撤退することを決めました!また神戸市は昭和40年に現在の東灘区魚崎浜町の海上自衛隊阪神基地隊の土地を国に売却した際に自衛隊の基地であるにも関わらず、阪神基地隊には火器・弾薬を集積しないことを条件に土地を売っていることが上畠の調査で発覚しました。これは国民を守る自衛隊に不要な足かせをかけていることであり、本来ならば国の専決事項である安全保障を地方自治体の神戸市が介入することは断じて許されません。上畠の追及に対して神戸市は見直しの要求があれば協議を受け入れると答弁しました。

EUの日本酒禁輸を阻止。 神戸が誇る灘の酒の輸出増加へ!



神戸市は、日本一の生産量を誇る灘五郷のうち、魚崎郷、御影郷、西郷を有する日本屈指の酒どころであります。中でも灘の酒は日本国内ではもちろんのこと、外国でも人気があり、昨今は輸出も増え欧州や台湾においても灘の酒は愛好されています。そのような中で欧州連合(EU)が2030年以降、域内への日本酒輸出を禁止する検討を進めていることが発覚しました。神戸市にとっても大きなダメージを与えることは必至です。そこで地元灘の酒を守り、欧州による輸出禁止を阻止すべく上京。EU各国との太いパイプを持ち、参議院議長を務められた山東昭子議員に面談し、共に連携して頂くよう要請。関係機関に即座に働きかけを行いました。その他、ここには書けませんが必要な行動を行いました。その後、EUは禁輸の対象から日本酒を外すこととなり、無事に日本酒の輸出は継続できることとなりました。今後も灘の酒の輸出を増やし、神戸の地場産業活性化の為に取り組んで参ります。

神戸空港の国際化! 神戸から台湾線の就航実現へ!

神戸にとって悲願である神戸空港の国際化が決定しました。そこで上畠のりひろは日本にとっても自由と民主主義の価値観を共有する大切な友好国である台湾と神戸空港を結ぶことは、日台両国の需要に応え、更なる需要喚起につながると考え、元首相であり台湾大使である謝長廷閣下、台湾航空行政の実務のトップである交通部常務次長(副大臣級)、航空会社のタイガーエア台湾社長に神戸空港と台湾線の実現を直談判。台湾側は神戸空港を高評価し、神戸空港に就航を行いたい旨の回答。この回答を得て早速、議会本会議で一般質問を行い、今後、神戸市当局も就航実現に向けて具体的に動く旨の答弁を得ました!神戸空港の台湾線就航実現に向けて引き続き行動致します。



▲神戸市会本会議にて一般質問



▲台湾大使・元首相謝長廷閣下に坊やすなが議長(全国市議会議長会会長)と表敬訪問



HPはこちら

神戸
市議員

兵庫区選出

村上たつま

発行：(神戸市会) 無所属 村上立真 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：(078) 322-6757

令和7年
予算議会号

現職

- 神戸市議員(兵庫区選出)
2期目
- 海事代理士
- 神戸青年会議所会員
- よみがえる兵庫津連絡協議
会会員
- 武陽野球倶楽部(兵庫高校
野球部OBOG会)事務局長



Photo: 後呂健児(お写真処 猫の顔)

プロフィール

- 平成4年11月6日生 A型
- 会下山小学校、湊川中学校卒(野球部)
- 兵庫高校卒(98陽会、野球部)
- 兵庫県立大学経済学部国際経済学科卒
- 早稲田大学大学院政治学研究科修了
(公共経営修士)
- 元久保田学園講師 港湾資材会社役員
- 令和5年4月神戸市議員選挙当選
(2期目)、最年少議員

兵庫県立大学とパラオ共和国教育省との MOU締結実現！



MOU調印式(中央左がウィップス大統領)

兵庫県と姉妹協定を結んでいるパラオ共和国。関係を深化させるため、この度の大統領の来日に合わせて神戸市にある兵庫県立大学とパラオ教育省のMOU締結を計画し実現しました。国際色豊かで日本人学生にとっても学びが多い大学都市神戸を実現してまいります。

キャナルタウン広場の 利用時間拡大実現！

令和6年の予算議会で取り上げたキャナルタウン広場の活用が17時まで制限されている問題について、駅のそばであることや柳原十日えびすの開催などある程度の夜の間にぎわいも許容されるべき場所であると訴えてきました。この度夜の利用についても可能になりました！

ほっともっとフィールド神戸の 改修今年度も予算確保！

以前より繰り返し訴えて予算を毎年確保しているほっともっとフィールド神戸の改修。その効果は野球ファンだけでなく、観客が市営地下鉄や外郭団体の駐車場を使うことを考えると神戸市財政への貢献は大きいです。令和7年度はふるさと納税で得た財源も活用しつつ観客席の改修など約2億6000万円の予算を確保しました。



ほっともっとフィールド神戸で
野球を観戦する村上たつま

実績TOPIC(二部)



市政に関するお困りごとをお気軽にご相談ください。

裏面へ続きます！

議会活動より

(一部)



質疑動画は
こちら

一般質問

神戸港複合ターミナルの形成について

神戸経済の三分の一をしめる基幹産業である神戸港出身の議員として、神戸港の復権に取り組み続ける村上たつま。六甲コンテナターミナルを活用した複合ターミナルの形成について、そこで生み出される新たな雇用がしっかりと今後の発展に活かせるような工夫を当局に求めました。

一般質問を行う
村上たつま



予算特別委員会分科会

消防団への入団を募る取り組みについて

以前消防団の方々から兵庫区のような市街地においては大規模集合住宅における消防団員の必要性についてご要望をいただいていた。当局との打ち合わせも重ねて今回の質疑では大規模集合住宅への消防団員募集の取り組みを強化していく方向が示されました。

手ぶら観光の推進

本年令和7年4月18日に神戸空港は国際化しました。当面1日に約6往復（台湾・韓国・中国へ）の国際定期チャーター便と別途臨時の国際チャーター便が就航します。

市内から神戸空港への快適なアクセスを支えるためにも、またそのしわ寄せが市民の皆様へいかないためにも、大きな荷物を空港や宿泊施設へ直送する「手ぶら観光」の推進を以前から訴えてきました。この度さらなる拡大に向けた答弁を得ました。



神戸空港国際化初日の
利用状況を視察

予算特別委員会総括質疑

新開地・湊川エリアの活性化

令和7年度予算では新開地エリアの既存ストックの調査・活用検討、湊川エリアではパークタウンの活用を想定したインキュベーション（起業支援）施設の設置のための予算が盛り込まれました。新開地や湊川などの市街地では既存の施設などを空洞化させず、最大限の有効利用が重要です。その狙いと取り組みについて市長に直接質疑しました。

総括質疑を行う
村上たつま



神戸市会議員
村上立真事務所

〒652-0046 兵庫区上沢通1-1-1 米澤ビル1F
TEL : (078) 599-7760 FAX : (078) 336-3572
Mail : murakami.tatsuma@gmail.com

Topics

2

市民の皆様からのご意見・ご要望



男性

仕事を退職し、地域のために活動したいと考えています。どこに相談したらよいですか？



山口

神戸市に「地域貢献相談窓口」があります。ぜひ連絡を取ってみてください。



車いすユーザー男性

ベシヤトルの欠航時の代替バスは歩行困難な車いすユーザーが乗れません。対策はありませんか？



山口

運営会社であるこうべ未来都市機構にご相談したところ、車いすユーザーが予約されている場合は、基本的に、リフト付きのバスをご用意いただけることになりました。(事前にご相談されることをお勧めします)



山口

シニアカーユーザー女性

学園都市駅前の駐輪場にシニアカーが置けません。困っています。



駐輪場におけるシニアカーに関する注意事項



山口

建設局にご相談したところ、今年7月よりBブロック(外大横)の空きスペースに置いていただけることになりました。ご活用ください。

Topics

3

超党派勉強会立ち上げのご報告

KOBEオーガニックシティ推進議員勉強会

現在20名参加

目的：市に対する政策提言

- ① 資源循環・環境保全
- ② 人と自然が調和した取り組み
- ③ 消費者が選択できる仕組み等



KOBEオーガニック推進協議会の
大皿会長の講義

神戸市の新しい取り組み



KOBE WOOD

「KOBE WOOD」とは、神戸の森林・里山・まちを未来につなぐことを目的とし、神戸市内の森林管理や都市整備で搬出された自然資源の活用を促進するためのブランド。



▲コースター ▲まな板 ▲プレート

毎月20日の

地産地消・生産者と消費者がつながる場
ウェルマル NIGHT MARKET 開催

7/20日・8/20水

16:30~20:30

場所：西神プレティ広場にて



神戸市の取り組みを応援し、よりよい政策を提案していきます！



山口

市長に対して
一般質問を行いました。

▶本会議場にて
「アウトドアバリアフリーについて」



◀本会議場にて
(R7年6月9日)

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になります、山口由美です。

暑い夏が、今年は早くやってきました。皆さま、体調はいかがでしょう。私も体力が消耗する中ではありますが、体調を整えながら精一杯仕事をしています。個人的にはなかなか成果が得られないことばかりで悔しい日々ではありますが、細かなことでも一生懸命に、区民・市民の皆様のお役に立てるように引き続き努力をしていきます。

ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者 山口 由美

西区選出5期目

ご意見・ご感想は…

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics
1

山口由美の市政への提案

1 大学に通う障がい学生の実態調査



支援が必要な障がい学生が困っている現状をお聞きしています。障がい学生の実態を調査してほしいです。

山口



「大学都市神戸産官学プラットフォーム」に参画している大学(市内12大学)に意見を聞くことも検討します。



市長

▼障がい学生の人数と在籍の大学数

	学生数	大学数
全国	全学生の1.79%	998校(85.4%)
神戸市(推計)	約1,200名	約20校

願わくば…



障がい学生支援プロジェクト

- 支援者育成(介護・看護)
- 学生と支援者のマッチング
- 学生・大学の相談窓口

国の制度を活用しても人材確保には課題が残ります。少子化により経営が厳しくなる大学をサポートする意味でも神戸市として介護や看護の人材を大学に派遣する仕組みを作ってみてはどうかと考えます。



山口

2 視覚障がい者支援

▶神戸市内の代表的な関係施設・団体



山口

神戸市に根付いて活動しておられる施設、団体等をうまくつないでいただき、子どもから大人まで一貫した支援を作り上げてほしいです。

支援機関や団体との意見交換の場を検討します。



市長

来年度は必要に応じて地域の小・中学校に弱視学級を設置します。



教育長

3 アウトドア・バリアフリー



山口

すでに市内で活動されているアウトドア・バリアフリーの団体を神戸市のユニバーサルツーリズムの取り組みにつなげていただきたいと思います。

▼ Feel KOBE(神戸公式観光サイト)内



今後、市内の活動団体のご紹介が掲載される予定です。

各団体が集まり意見交換する場を検討します。



市長

秋ごろ開催予定



Feel KOBE
はこちらから

代表例

須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

ユニバーサルビーチプロジェクトは、障がいの有無に関わらず、みんなで海を楽しもう!というプロジェクトです。そもそも選択肢になかったビーチ・海を楽しめた!という小さな成功体験を次なる原動力に、人生のチャレンジのキッカケづくりを目指します。



代表理事
木戸俊介さん

7/12(土)~8/24(日)
毎週末土日祝 10:00~16:00
須磨海岸で開催
参加無料 要申込
くわしくはこちらから

4 西区 重大事件からの教訓

1

6歳児虐待死事件



山口

児童相談所の第三者評価を定期的に受けてほしいです。

検討していきます。



副市長



山口

神戸市こどもを虐待から守る条例(H31年制定)の改正に取り組みます。



山口

虐待の世代間連鎖を断ち切る取り組みも進めて欲しいです。

子どものケアのみならず虐待を行う保護者に十分な支援を継続し、中長期的な取り組みも検討します。



副市長

2

神出病院患者虐待事件



山口

市内の精神科医療の現状を把握していただきたいです。また、市民病院、公的な病院が果たすべき役割を明確にすべきです。



山口

特に児童精神科の状況は深刻です。

20歳未満の精神疾患患者は3年で2倍以上。市内でも初診まで1ヶ月半かかる状況。精神科病院にも協力を求めています。



副市長

子育てしやすい街を目指し続けるなら、苦しむ子ども・辛い状況で子育てしている人の声をもっと聴くべきです。



山口

●今後も、警察など関係機関と連携し、被害の未然防止に努めていく。

■ 平野達司の想い

生活保護を必要としている方々が、安心して暮らせる環境を守ることは、行政の大切な責務です。そして、現場で奮闘するケースワーカーや民生委員の方々にしっかり支えることは、市民福祉の土台そのものです。見過ごされがちな「まちのすき間」で起きるこうした問題に、しっかり目を向け、まち全体の信頼と安全を守っていくことが私の使命です。

兵庫運河の水辺の再生から未来の学びへ

～兵庫運河を活かした地域ぐるみの環境教育とまちづくり～

「兵庫運河は、海のゆりかごとして、今あらためて命を育み始めています。」

2025年6月9日の神戸市会本会議。私は、兵庫運河の環境的価値の再発見と、その可能性を最大限に引き出すための具体的な施策について、市に問いかけました。

兵庫運河は明治期に整備され、神戸港の物流を支えた歴史ある土木インフラです。現在ではその役割を終えつつありますが、近年、地域の皆様や漁業者の手によって水質改善が進められ、再び多様な生き物が生息する“命のゆりかご”として息を吹き返しつつあります。

私はこの再生の流れを、「地域の環境教育の場」「次世代の学びの場」としてさらに広げていく必要があると訴えました。現在、地域の小学校などでは、環境学習の一環として兵庫運河を訪れる機会が設けられていますが、これを単なる地域学習にとどめるべきではありません。兵庫運河は、生態系の再生プロセスを間近に観察できる貴重なフィールドであり、全国的にも注目される研究・教育拠点となり得るポテンシャルを持っています。

その実現のために重要なのが、「環境教育を担う指導者の育成」です。私は、これまで現場で運河再生活動に関わってきた地域の方々の知見を活かしながら、専門的な視点も持ち合わせた“現場を知る指導者”の育成と招致を進めるべきだと提案しました。指導者が集まり、継続的な学びの循環が生まれれば、地域の活動はさらに豊かに広がっていきます。また、この動きを持続可能なものとするには、企業と連携した支援の仕組みづくりが欠かせません。たとえば、ブルーカーボンの仕組みに基づく「J ブルークレジット」や、環境省が推進する「自然共生サイト」の認定に基づく企業向け証明の発行など、環境価値を“見える化”することで、企業からの資金提供だけでなく、人的支援・物的支援・イベント支援といった多様な協力を得る道が開けます。

私は神戸市に対して、こうした企業との橋渡しを積極的に担い、支援の選択肢を整理・明確化して提示するよう求めました。市の側が“つなぎ手”となることで、地域団体と企業のマッチングが加速し、より広がりのある活動が展開できると確信しています。

来年4月には、兵庫運河に環境学習施設の整備が予定されています。この施設を単なる学習空間にとどめず、地域・企業・行政・教育機関が連携する「学びと交流の場」として育てていくことが、今後の神戸にとって大きな財産になるでしょう。ゆくゆくは、他都市の修学旅行の受け入れ先としても注目されるような施設を目指し、国内外の多くの方々に兵庫運河を訪れていただけるような環境を整えていきたいと考えています。

兵庫運河の水辺再生は、自然を守るだけの活動ではありません。

それは、地域子どもたちが自然とふれあい、命の循環を学ぶ場所であり、企業と地域が手を取り合って未来を創る舞台でもあります。兵庫区から、環境と学びの新たなモデルを。この水辺から、まちの未来を育てていきます。



兵庫運河（あつまれ生き物の浜）



質疑動画

ご挨拶

最後までお読みいただき、ありがとうございます。日頃のご支援に心より感謝申し上げます。私は地域を歩き、皆様を市政に届けるべく取り組んでいます。令和7年6月議会での質疑を中心に、市政報告をまとめました。これからも地域の声に耳を傾け、身近で信頼される市政を目指してまいります。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

神戸市会議員平野達司（たつじ）事務所

神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP

神戸市会の本議会、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会

市会だより 令和7年第2号

神戸市会報告

神戸市会議員

ひらの
平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 内線 7060



データを活用したまちづくりと子育てしやすい神戸市・兵庫区へ

～数字で地域課題を“見える化”。子育て世代の声を未来のまちづくりに反映～

少子化が進む中、住みやすく・子育てしやすいまちをどうつくるか。神戸市や兵庫区が抱える課題を、統計や現場のデータをもとに分析。地域に必要な医療・保育・住宅環境の“配置バランス”を整え、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

（質疑内容はP2に）



2025年6月9日本会議場での質疑

まちなか自習室の拡充に向けて



先行実施した自習室（神戸市資料より）

～家庭でも学校でもない「第三の学び場」を地域に広げる～

「静かに集中できる場所がほしい」——そんな中高生たちの声から始まった、まちなか自習室の取り組み。地域の空き施設や公共空間を活用し、子どもや学生が安心して学べる環境を広げていきます。学びの場の充実、未来への投資です。

（質疑内容は、P3に）

貧困ビジネスから生活とまちを守る

～人権と地域の安全を守るために～

ケースワーカーや民生委員の声を活かし、見えにくい人権侵害を早期に察知・対応できる仕組みづくりを提案しました。安心して暮らせる地域と支援現場の環境を守ります。

（質疑内容は、P3に）



兵庫運河の水辺の再生から未来の学びへ



兵庫運河での環境学習

～“海のゆりかご”が子どもたちの教室に。地域と自然が育む新しい学び～

地元の漁業者や市民の手で再生されてきた兵庫運河。多様な生き物が息づくこの場所を、環境学習や研究のフィールドとして次世代に開放していきます。地域で育てた自然を、全国から“学びに来てもらえる”資源に——未来の教育拠点としての可能性を広げます。

（質疑内容は、P4に）

データを活用したまちづくりと、子育てしやすい神戸市・兵庫区へ

2025年6月9日の神戸市会本会議にて、私は「データに基づく政策形成(EBPM)」と「子育て世帯の定住促進」を柱とした一般質問を行いました。兵庫区選出の市会議員として、地域に根差した視点を重視し、市全体の動きと地元の課題とを結びつける形で提案を行いました。



質疑動画

■ 1. データを活用したまちづくり ～地域ごとの課題を可視化する～

私は冒頭、国全体で進む「EBPM(Evidence-Based Policy Making)」の流れを受け、神戸市においても客観的データに基づいた政策立案を一層推進すべきだと訴えました。

特に注目したのは、神戸市が2023年に開設した「神戸データラウンジ」です。これは市が保有する行政データやオープンデータを一元化し、市職員や民間事業者が活用できる仕組みですが、地域ごとの課題分析や政策立案にまだ十分活かされていません。

たとえば、兵庫区では小児科医の偏在(平野エリアや、運南エリアには小児科がない)や病児保育がないといった課題があります。これが子育て世帯の転出要因の一つにもなっています。こうした状況を、エリアごとのデータで可視化することで、適切な資源配置につなげられると提案しました。

また、BI人材(データ分析やビジネスインテリジェンスに強い人材)の育成や、現場の声を吸い上げながらデータ分析と接続する仕組みの構築を要望しました。

久元市長からは「職員のデータ活用スキル向上に向けた研修や人材育成を進めていく」「データを活用した課題分析は今後の政策形成に不可欠である」との前向きな答弁がありました。

■ 2. 子育て世帯の市外・区外転出を防ぐには？

私は、特に兵庫区において現場からは「小児科が近くにない」「病児保育がない」などの声を多くいただいています。

そこで私は、エリアごとの医療・保育・相談拠点の「配置バランス」を見直すべきと主張。今後の都市インフラ整備は「量」から「バランスと配置」へと転換すべき時期に来ています。

また、若年ファミリー層が暮らし続けるためには、住宅政策も大きな鍵を握ります。

■ 3. ワンルームマンションの増加と、ファミリー層の住まい不足

兵庫区では、近年ワンルームマンションの建設が急増しています。たとえば、2020年度から2024年度にかけて、兵庫区内の共同住宅の新設戸数(1戸あたり30㎡未満)は5,235戸にも上り、神戸市全体の約44%を占めています。

これは、市内他区と比較してもかなり高い水準であり、若年単身層や投資目的の住宅が主で、子育て世帯向けの住宅ストックは相対的に不足している状況です。

私は、こうした傾向を是正するため、次の提案を行いました。

- 地域ごとの住宅ストック状況を可視化し、住宅政策のターゲット精度を高めること
- ワンルーム建設の「抑制」ではなく、子育て世帯向けの「定住促進」につながる仕組みを強化すること

また、既存ストックのリノベーション支援や、住戸の多様性を担保する誘導策も併せて検討すべきと訴えました。久元市長からは、「兵庫区でのワンルーム建設増加は市としても把握しており、今後、地域特性を踏まえた住宅政策の見直しを検討する」との答弁がありました。

■ 今後に向けて

地域課題は、ひとつひとつの事象だけではなく、住環境・医療・保育・交通などが複合的に絡み合っている生まれています。だからこそ、データに基づいた総合的な地域診断と、子育て世帯や住民目線での政策立案が求められます。

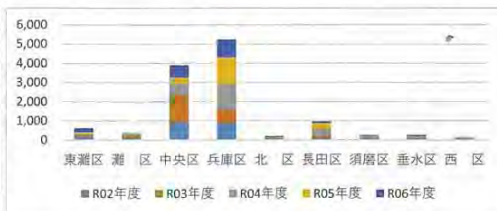
私は、これからも「活力ある兵庫区へ」という原点を忘れず、現場の声とデータの両方を政策に反映してまいります。



子育てママとの地域対話

	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R2～R6
東灘区	165	113	36	88	215	617
灘区	114	140	62	43	4	363
中央区	950	1,394	604	299	645	3,892
兵庫区	895	656	1,350	1,394	940	5,235
北区	50	51	14	32	46	193
長田区	110	90	362	313	81	956
須磨区	87	0	126	12	28	253
垂水区	81	0	66	33	80	260
西区	12	30	102	0	0	144
全市	2,464	2,474	2,722	2,214	2,039	11,913

神戸市の直近5年間のワンルーム供給戸数



まちなか自習室の拡充に向けて

～子どもたちの「学びの場」を地域の力で支える～

■ 背景と課題

神戸市では、放課後に中高生が安心して勉強できる場所を提供する「まちなか自習室」の整備が進められています。2025年度は、スマートフォンで簡単に利用できるシステムを構築し、民間のカフェやコワーキングスペースなどを活用して、各区1か所以上・市内15か所以上での設置が目標とされています。

ただし、全ての場所が中高生にとって最適な環境とは限らず、たばこの煙や静けさの確保といった課題もあります。

■ 平野達司の提案

私は、まちなか自習室の更なる拡充にあたって、以下のような具体的提案を行いました：

- 商店街や、市場の空きスペース(会議室、組合事務所、空き店舗など)を活用することで、
 - ① 中高生のアクセスしやすい立地を確保しながら、
 - ② 商店街・市場のにぎわい創出にもつながる可能性がある。
- シニアポイント制度(神戸シニア元気ポイント)や「ぼらくる」などの市民参加制度を活用し、見守りや受付などの人材を確保する仕組みを導入すれば、より多くの場所での実現が可能になる。
- 実際に市場・商店街側からも前向きな声があり、これをモデルケースとして活用することで、地域全体の活性化と学習支援を同時に進められる。

■ 市の答弁と今後の展開

副市長からは、「商店街や市場の空きスペースを活用したいという申し出があれば、立地・時間帯・環境など中高生が利用しやすいかという視点から、前向きに具体的な検討を進めたい」との答弁がありました。

■ 平野達司の思い

中学生、高校生より、放課後、自宅以外で安心して勉強(自習)ができる場所の希望が増えてます。

だからこそ、地域に「学びの場」をつくることは、大人たちの責任です。

そしてその場所が、地域の商店街や市場なら、子どもたちと地域がつながるきっかけにもなります。

私はこれからも、地域と子どもがともに育つ仕組みづくりを全力で進めていきます。



トピックス！！

地域で支える学びの場「まちなか自習室」が2025年7月からスタート！
企業や店舗と連携し、市内39か所のカフェやカーディーラー等の店舗で、中高生向け無料の自習スペースを開設。安心して学べる場を地域ぐるみで広げます。

貧困ビジネスから生活とまちを守る

～ケースワーカー・民生委員の現場の声を活かした対策～

■ 背景と問題意識

神戸市では、老朽化した住宅に生活保護受給者を囲い込む、いわゆる「貧困ビジネス」とされる事態について、ケースワーカーや民生委員の方々から現場の声が寄せられています。

こうした事態は、

- 劣悪な居住環境による人権の侵害

- 地域景観やまちのイメージの悪化

といった問題につながりかねません。

しかし、最前線で接するケースワーカーや民生委員の方々が、危険や不安を感じながらも、情報を一人で抱え込んでいる状況は看過できません。

■ 平野達司の提案

私は、次のような対策が必要であると提案しました：

- 現場で得られる「違和感」や「小さな異変」を情報としてしっかり集約できる仕組みづくり
→ 情報収集をケースワーカー任せにせず、受け皿をつくることが重要です。
 - 関係機関(警察や法的支援機関)と密接な連携体制を構築し、疑わしいケースは早期に共有・対応する体制をつくること。
- こうした仕組みがあれば、現場での不安や恐怖感を軽減しながら、貧困ビジネスへの対抗手段を市全体で確保できます。

■ 市の答弁と今後の展開

副市長からは、以下のような答弁がありました：

- ケースワーカーによる訪問調査を通じて住環境や契約状況を把握しており、不適切な住環境が確認されれば、法テラス(日本司法支援センター)等の支援案内や転居支援も行っている。



質疑動画



2025年6月9日の本会議場での質疑

「市民の声」を生かす！

神戸の未来

9月2日から10月10日まで9月議会（通称「決算議会」）が開かれ、令和6年度決算の審査が行われました。今回も市民の皆様からのお声を反映し、会派として代表質疑を行いました。震災の負債返済は着実に進み、久元市政後半からは投資的経費も増加しています。こうした市の現状を市民の皆様にご覧いただき、ともに神戸の未来をつくってまいります。

都市再生
三宮クロススクエア

Q

歩行者を優先とした都市の魅力向上に繋がる三宮クロススクエア構想に対する、渋滞や物流動線の懸念をどのように解消していき、事業を進めていくのか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A 三宮クロススクエアは車中心から人中心の空間へ転換し、歩行者空間拡充と回遊性向上を図る計画です。第1段階の三宮交差点東側の6車線化は、2019年の実験や交差点改良を経て渋滞解消や事故減少など効果を確認しました。2029年度JR新駅ビル開業と同時完成を目指します。第2段階の3車線化は、大阪湾岸道路西仲部の供用が前提なので時期は未定です。社会情勢、交通動向を踏まえて必要な対策を行い、渋滞や物流への影響を十分検証し、自動車交通との調和を図りながら計画的、段階的に進めていきたい。

都心機能誘導地区における
タワマンなどの大規模住宅規制

Q

三宮タワマン規制は、あえて都心のみ規制を行っている趣旨とマンション適正管理の課題とが混同されている。改めて狙いを明確に示すべきではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A 都市機能誘導地区には高い容積率を指定しており、居住機能が過度に増えると商業・業務機能の低下や小学校過密化などのインフラ負担が懸念されます。そのため都心と郊外の役割分担を踏まえ、全市的にバランスあるまちづくりを進めることが重要です。今後も市民や各業界と対話をし、狙いを丁寧に発信していきます。

タワーマンションの
空室税検討に

Q

タワマン空室税は賛否両論あるが、その検討目的を明確にし、市民の誤解を招かないよう正確な情報発信が必要ではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A タワーマンションと地域社会の関わりのある有識者会議報告を踏まえ、空き部屋所有者への法定外税の可能性を専門的に検討するため、学識経験者による検討会が設置され、委員からは賛否様々な意見がありました。空室活用促進や建物適正管理促進の2つが可能性として議論されています。今後は、まちづくりとの整合性や目的の明確化を進め、正確な情報発信に努めていきます。



代表質疑(3名)

令和7年9月8日(月) ※一部要旨

坊 やすなが

松本 しゅうじ

うへは たのりひろ

部活動の地域展開と
各家庭への経済的支援

Q

KOBE+KATSU 開始で中学生の環境は変化する。切れ目のない子育て支援として中学生がいる世帯への経済的支援を充実させるべきではないか。

9月8日 本会議で坊議員が代表質疑

A 高校生は授業料負担があり、通学の範囲も広く、通学費の補助などで支援を強化してきましたが中学生世帯への負担軽減も重要と考えています。これまでに中学校全員喫食や給食費負担軽減、こども医療費の所得制限撤廃、学習支援事業の拡充などを進めてきました。今後、**中学生がいる子育て世帯のニーズを把握し、必要な支援**を議会からの指摘も踏まえ対応していきます。



積極的な投資と民間活力

Q

久元市政で財政は健全化された。持続可能な大都市経営になるよう、これまで以上に積極的な投資を行い、民間活力を呼び込む好循環を生み出すべきではないか。

9月8日 本会議で松本議員が代表質疑

A 都心・三宮再整備や駅前リノベーションなど都市の魅力向上につながる投資を推進し、民間投資を呼び込むことで、**経済拡大と市民所得向上の好循環を図ることが重要**です。近年、オフィス供給やホテル開業、住宅開発も進んで、民設民営のGLION ARENA KOBE開業では新たな賑わいも創出されています。投資的経費は令和7年度に23年ぶりに1,000億円を超え、今後も1,200～1,300億円規模で推移見込みで、財源確保と事業見直しを行いつつ必要な投資を継続します。

人口減少下における
市の方針明確化と情報発信

Q

人口減少を甘受しているとの印象から不安や誤解がある。人口減少時代に立ち向かう市の方針を丁寧に発信し、市民の不安や誤解を防ぐべきではないか。

9月8日 本会議でうへは議員が代表質疑

A 人口減少への対応として、減少幅を抑制しつつ、これまでにない発想の施策が求められます。自然減対策として子育て支援や若年層の結婚支援を強化し、社会増には住む・学ぶ・働く環境の充実を図ります。国の施策を活用しながら市独自策も進めます。都市のスポンジ化に対しては、これまでにない住宅供給の新しい発想での施策展開が必要である。神戸市の基本方針が市民に十分、正確に伝わるよう情報発信をしていきます。





しらくに 高太郎

新たな住宅供給政策

Q 市長会見で「2030年までに5万戸の新規住宅供給」を発表されましたが、今後の取り組みについて伺います。

A 住宅価格高騰や人口減少を踏まえ、良質で手に入りやすい戸建て住宅の供給が必要です。郊外市有地の活用から始めて市営住宅再編余地の分譲も進め、民間の力も借り、ゆったりとした平屋や菜園付き住宅なども含めて多様な住宅を供給します。地域の魅力もPRし、好循環を生み出していきたいと考えています。



総括質疑 令和7年9月26日(金)

※一部要旨

人口減少社会における広域連携の推進

Q 人口減少社会において、限られた財源や人材で行政サービスを維持するためには広域連携が重要です。現時点で必要な分野と今後の進め方について伺います。

A インフラ施設の共同利用、技術職やデジタル人材の確保・育成、神戸空港国際化を契機とした観光資源の共有などが考えられます。近隣市との協議会等を通じて情報交換を行い、神戸がリーダーシップを発揮して推進します。



※三田市と消防司令事務の共同運用、芦屋市の可燃ごみ受け入れ合意、淡路島3市との連携協定締結が既に取り組みされています。

健康都市としてのブランド醸成

Q 予防の観点で研究成果・エビデンスに基づく健康づくりプログラムの構築や、ブランディングしている坂を健康づくりにも活用してはどうか伺います。

A ヘルスケアデータ連携システムを活用し、研究と連携した健康づくりを進めています。地域ごとの特徴を踏まえた取り組みも実施しています。また、坂愛好家のウォーキングイベントなども出てきました。今後もデータに基づき、坂も活用しながら市民の主体的な健康づくりと地域活性化を図ってまいります。



その他の質疑項目 ●性別に関わらずチャレンジできる社会の実現 ●若者に選ばれる企業誘致 ●農業振興のための市による効果的な支援 他

令和6年度神戸市の決算

決算総額:1兆9,271億9,400万円
実質収支:14億1,100万円(黒字)

一般会計 9,306億5,900万円

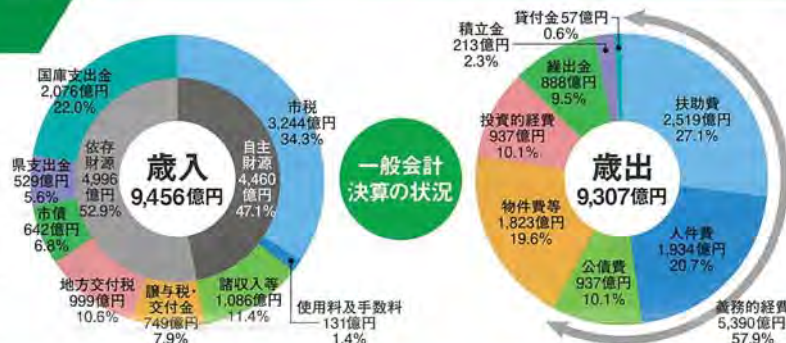
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

特別会計 6,748億4,900万円

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入を行う事業の会計です。

企業会計 3,216億8,500万円

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。



令和6年度会計決算ならびに関連議案について意見表明を行いました

令和6年度は社会保障関係費や投資的経費が増加したが、税収増と行財政改革推進で黒字を確保し評価します。今後の厳しい財政下でも投資的経費を維持し、交流人口・関係人口の拡大や民間投資促進を図る必要があります。行財政改革方針2025の着実な推進と経済成長施策の推進を期待して、令和6年度各会計決算及び関連議案合計23件を要望16件を付して、認定並びに承認します。

要望事項(抜粋)

●KOBE◆KATSUが子どもたちにとって有意義な体験の機会となるよう、教育的意義や教育委員会の責任を明確にしつつ、経済的な課題など、子どもや保護者の不安を払拭するよう取り組むこと。●若者の市内企業就職を促進するため、市内企業でのインターンシップの推進や選ばれる企業になるための支援、人気のあるリーディングカンパニーの誘致などを通じて若年層の市内定着を促すこと。●タワーマンションへの法定外税については、検討会や市会の意見も踏ま

え丁寧に議論を進めること。●障がい者雇用については、本市をはじめ市内事業者が法定雇用率を満たせるよう引き続き積極的に取り組むとともに、超短時間雇用についても推進すること。●二次救急体制を維持するため、運営補助金を増額すること。●児童養護施設等退所者や、親族等に相談・支援を受けられない児童などの実態把握に努めるとともに、ニーズや実態に見合った支援策を講じること。●学校給食に地元のオーガニック食材を段階的に導入し、有機農業の意義を教える食育を推進すること。他9件。

本紙掲載内容や市政へのご意見・ご相談はお住いの区の所属議員へお問い合わせ下さい。

東灘区

幹事・広報
うへはたのりひろ
tel.050-3573-1204
fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com

副政調会長
大野 陽平
tel.078-851-6996
fax.078-854-2300
yoheiohno11@gmail.com

灘区

政調会長
吉田 健吾
tel.078-861-5566
fax.078-861-3456
gogo@yoshidakengo.jp

副政調会長
浅井 美佳
tel.080-5818-4408
asaimika.kobe@gmail.com

中央区

幹事長
河内 たかかず
tel.078-806-8633
fax.078-806-8653
kobe.kawanami@gmail.com

兵庫区

副幹事長
平野 達司
tel.078-531-8780
fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com

村上 立真
tel.078-599-7760
fax.078-336-3572
murakami.tatsuma@gmail.com

北区

相談役
坊 やすなが
tel.078-983-1711
fax.078-983-1719
yasunaga.bo@gmail.com

植中 雅子
tel.078-583-8060
fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

長田区

団長
平井 真千子
tel/fax.
078-643-0647
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

須磨区

松本 しゅうじ
tel.078-795-9069
fax.078-795-9090
matsujimin3@gmail.com

副幹事長
しらくに 高太郎
tel.078-704-6060
fax.078-709-5252
info@shirakuni.net

西区

坊池 正
tel.078-965-0400
bouike@nifty.com

幹事・会計
山口 由美
tel/fax.
078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com

山下 てんせい
tel.080-5341-3710
fax.078-961-3849
(URL) https://yamashita-tensei.com

Topics
2

11/15～26開催!

デフリンピック・東京大会のキャラバンカー来神!



11月に日本で初めてデフリンピック(聴覚障がい者のオリンピック)が開催されます。神戸市からは5名(うち1名監督)が参加されます。そして西区からはオリエンテーリングの尾田継之選手、自転車競技では末政実緒監督が参戦。皆様の応援、よろしくお願いいたします!



▲中央区役所前にて(R7年9月22日)

Topics
3

ユニバーサル・アウトドアの情報発信スタート



Feel KOBE(神戸公式観光サイト)にてユニバーサル・アウトドアの紹介が始まりました。行楽シーズンにぜひご利用ください。

ユニバーサル・アウトドア情報の詳細はこちら

▲アウトドア用車椅子
岡山大学のご協力により、神戸市立自然の家に配置され、野外活動等に活用できます!Topics
4

市民の皆様からのご意見・ご要望



視覚障がいの男性

学園都市駅・バスロータリー周辺の点字ブロックがすり減って白杖がひっかりません。直していただけないでしょうか。

現地調査にご協力もありがとうございました。ご要望の部分について工事が完了しました。西建設事務所のご協力にも感謝申し上げます。

山口



自治会長

地域内にある横断歩道の舗装が消えかけて、通行する車から見えず、子どもが渡れなくて危険な場面を見ました。押しボタン式の信号機の設置も含め、改善を検討できませんか。

信号機については西警察に要望したものの、難しく申し訳ありませんが、横断歩道・ダイヤモンドについては補修していただきました。西警察の迅速な対応に感謝します。

山口

R6年度決算について
農業や子育て政策の質問をしました。

決算特別委員会
第3分科会の様子
(R7年9月11日)

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になります、山口由美です。

今年も残すところ2か月ほどになりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。この夏は長くて暑いだけでなく、雨が降らないことによる農業への影響は深刻なもので、農家さんのご不安の声を数多く聞きました。神戸市は近郊農業が盛んな地域、特に西区においては主要な産業です。一生懸命農業を守っておられる関係者の皆様のお力になりたいと日々お話を聞き、行政に届け、勉強も続けてきました。

まだその取り組みの成果は出ていませんが、これからも西区の課題にしっかりと目を向けつつ、ライフワークである福祉・教育の課題にも取り組みを続けたいと思います。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者 山口 由美

西区選出5期目

ご意見・ご感想は...

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

Topics
1

山口由美の市政への提案

決算特別委員会 経済観光局審査 ▶



今年の水不足は深刻で、農家さんの不安も高まっています。まずは状況を把握し、対策を検討してほしいです。

山口



▲ 水不足のために枯れこんだ水田



▲ 定植後に枯れて育ちが悪いキャベツ圃場



農政担当局長

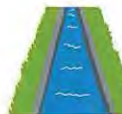
水不足の状況を把握し、国・県の制度もふまえて支援を検討していきます。

危機感を持って、農家さんに寄り添ってほしいです。

山口

※現在、今年度分の支援に向けた渇水応急対策の事業量調査の結果を取りまとめ中

▶ 農業用水取水方法(神戸市)

その他の水源
2,061ha
(約41%)東播用水
2,962ha
(約59%)

水土里ネット東播用水より引用

▼ 国・県・市の補助事業

1 土地改良施設維持管理適正化事業(国・県)

- ① 整備補修 ③ 一部更新
② 設備改修 ④ 安全管理施設整備

地元負担 30% (神戸市10%上乗せ補助含め)

2 一般水路・ため池改修事業(神戸市)

- ① パイプライン等の緊急補修
② 用排水路・ため池・ポンプ施設・水管橋などの軽微な補修・改修

地元負担 60% (引き下げを要望中)

3 農業水利施設への干ばつ応急対策支援(国・県)

新規

- ① 水路の造成、井戸やポンプ等用水施設及び動力線・送水管等の設置。運転に要する費用
② ポンプ・可搬タンクの購入・借り上げ料
③ 給水車等の委託・借り上げ料
④ 番水等水管理費用

補助対象期間 R7.6.27~

地元負担 制度設計中 (引き下げを要望中)

2

公立保育所の歯科嘱託医



山口

報酬が実務と見合っており、改善が必要では？

報酬の引き上げを検討します。



こども家庭局副局長

公立保育所での歯科健診

0~3才	定期健診	1回/年
4,5才	定期健診 + 特別健診	各1回/年 計2回/年



3

支援や配慮を要する子が通う保育施設への支援

R7年度~ 制度再編

すこやか保育支援事業

まるっとはぐみ支援事業

● 対象児1人に対して

区分1	21万円/月
区分2	14万円/月

● 施設に対して

4万円/月

対象児の増加に伴っての制度再編はありがたいですが、引き続き現場の負担軽減・質の向上に努めてほしいです。



山口

制度の見直しは第1歩と考えており、今後も検討・研究を進めます。



こども家庭局長

▼ すこやか保育対象施設数・人数の推移



4

児童虐待対応



山口

虐待相談・通告件数の増加で、児童虐待に関わる職員の負担も大きくなっています。児童虐待対応の根本的な体制を検証するとともに、児童家庭支援センターの業務拡大にも取り組んでいただきたいです。

▼ 虐待相談・通告の件数



神戸市の児童虐待対応 (児童相談所1か所体制)



- 現在の業務
- ① 指導(児童や家庭への支援・保護者等への指導)
 - ② 見守り(保育所等の所属のない家庭への見守り)
 - ③ 区役所への技術的助言・援助等
 - ④ 虐待を含めた子育て相談 + α (予定)

児童相談所複数設置市
8市/20市

札幌市(2) 川崎市(3)
さいたま市(2) 名古屋市(3)
千葉市(2) 京都市(2)
横浜市(4) 大阪市(3)

メリット

- アクセスしやすい
- 家庭訪問の時間短縮 等

デメリット

- 経験豊富な職員の分散
- 人材育成しづらい
- スケールメリットを活かした対応困難

※児童相談所長の答弁より抜粋

データと声で描く、子育て・地域の新しい未来(地域協働局質疑:2025年9月16日)

兵庫区では、単身者やワンルームの増加による地域担い手不足、子育て世帯の転出、そして自治会の世代交代など大きな課題があります。私は「データ」と「現場の声」を組み合わせ、子育て世帯が安心して暮らし続けられる環境づくりや、新しい担い手を巻き込む地域活動の形を提案しています。他都市の先進事例も参考にしながら、神戸の地域課題を解決し、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

■ 1. データと現場の声を活かした地域づくり

- 兵庫区は単身世帯やワンルームマンションが急増し、地域活動の担い手不足が課題。
 - 高校生・大学生・社会人・企業など「潜在的に地域に関わりたい人」は存在する。
 - 人口データや人流データを活用し課題を見える化、地域の人々や企業と共有することで、新たな担い手を掘り起こすべき。
 - データだけでなく、現場を歩き、住民の声を聞き、実感と合わせることで本当に実効性ある施策につながる。
- 📌 「データ+現場感覚」で地域の課題を明確にし、若者や新住民を巻き込み、地域を活性化させたい。

データについて

神戸市では、「データラボ」を通じて、市民の皆さんにもオープンデータを公開し、まちの現状を「見える化」しています。また、市職員専用の「データラウンジ」では、行政内部で蓄積されたデータを共有・分析し、より効果的な政策立案に活かそうとしています。

■ 2. 子育て世帯が定着できるまちづくり

- 兵庫区では「6歳未満の子がいる家庭の転出」が突出して多い。
 - 背景には、小児科・病児保育の不足や、ファミリー向け住宅の不足がある。
 - 実際に新築マンションの84.4%がワンルームで、ファミリータイプはわずか15.6%。
 - 若い単身者は増えている一方で、子育て世帯が住み続けにくい状況。
- 📌 ファミリー層が住み続けられる環境(医療・保育・住宅)を整え、人口流出を防ぎたい。

■ 3. 自治会活動の新しい形の模索

- 高校生や若い世代が自治会長になるなど、全国で新しい事例が生まれている。
 - 神戸でもこうした先進事例を広げ、自治会の活性化や担い手確保につなげるべき。
 - 「発想の転換」は、他都市での具体的な取り組みや成果を紹介しながら、自然に意識の変化を促していくことが大切だと考えます。
- 📌 世代交代や会員不足に悩む自治会を、柔軟なアイデアや外部事例を取り入れて支援したい。

■ 4. 企業との連携で地域に活力を

- 地元銀行が子ども向けに「キッズマネーアカデミー」を開催したように、企業の地域貢献意識は高まっている。
 - 企業と地域をつなげれば、子ども向けイベントや交流の場が広がり、地域の学びや活力につながる。
 - 行政は受け身でなく、企業へ積極的に働きかけ、連携を広げるべき。
- 📌 企業と地域と一緒に地域貢献できる仕組みを、神戸市が主体的に進めるべき。



銀行によるキッズマネーアカデミー

若者の定着と人材育成 - 神戸から未来を切り拓く! (企画調整局質疑:2025年9月11日)

■ 医療産業都市 × 人材育成

神戸医療産業都市はAI・バイオ・ロボティクスの成長分野で大きな飛躍の時を迎えています。私は、神戸大学(システム情報学部 2025年4月設置)や市立高専(システム情報工学科 2026年度から設置)などと連携し、次世代を担う若者を育て続けることを強く求めています。

■ インターンシップで地元就職を!

就職を機に多くの若者が東京へ流出してしまう現状を変えるため、神戸市のインターンシップ事業をさらに拡充すべきだと訴えました。

- 📌 この事業には専門コーディネーターがつき、学生と企業を丁寧にマッチング!

- 📌 企業の負担を減らし、採用のチャンスを広げます。

- 📌 特に中小企業こそ活用すれば、次世代人材の確保に直結します。

学生が「神戸にも活躍の場がある」と実感できれば、若者の地元定着、そして人口増加につながります。私は、神戸の未来を支える仕組みとして、この取り組みをさらに強力に後押ししてまいります。

ご挨拶

最後までお読みいただき、ありがとうございます。日頃より温かいご支援に心より感謝申し上げます。本市政報告では、令和7年9月議会での質疑を中心に、これまでの取組みをまとめました。これからも地域の声に耳を傾け、身近で信頼される市政を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援とご意見をよろしくお願いいたします。

市会だより 令和7年第3号

神戸市会報告

神戸市会議員

ひらの
平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 内線 7060



兵庫区に病児保育、ついに実現へ!

長年要望してきた兵庫区の病児保育が、2025年度予算で具体化へ。行政と医師会が連携し、2026年4月には詳細が示される予定です。働く保護者に安心を届けます。(詳細は、P3へ)



病児保育(神戸市HPより)



9月議会本会議にて

市バス・地下鉄もっと便利に!



市バス路線の改善や新ルートの検討に加え、運転手の休憩や点呼の効率化を提案しました。特に、地下鉄駅を活用して運転手が交代・休憩できる仕組みを導入すれば、車両の営業に使える時間を増やし、効率的な運行が可能となります。さらに地下鉄駅空間を有効活用することで、市民負担を増やさずに利便性と経営改善につなげる施策を求めています。(詳細は、P2へ)

救急搬送がもっとスムーズに!

救急情報を複数病院へ同時配信する新システムを2026年度導入予定。搬送先決定の時間を短縮し、救命率アップと現場負担の軽減につながります。命を守る改革。(詳細は、P3へ)



企業と地域でつくる、若者の未来



企業と地域が一緒になって子どもたちの学びや交流を応援。さらにインターンシップを充実させ、学生に地元での活躍の場を広げ、若者定着と雇用拡大をめざします。(詳細は、P4へ)

市バス・地下鉄もっと便利に! (交通局質疑:2025年9月19日)

■ 1. 兵庫・長田エリアの市バス路線再編から9系統ルートの通行禁止側道を活用した新ルートチャレンジ

令和6年度、兵庫・長田エリアで大規模な路線再編が行われ、結果、収支は約9,000万円改善し、運行効率も向上しましたが、依然として全体で約5億円の赤字です。

私は、再編後の地元のご意見やご要望を受け、一つの案として、9系統のルートについて提案しました。2024年4月の路線再編で9系統の湊川公園交差点からの北上ルートが廃止され、兵庫区役所や東山商店街へのアクセスが不便になりました。そこで、**東山町の側道(ルート図ご参照)を活用することで効率を落とさずに運行できるのではないかと考え、東山町・兵庫区役所へのアクセスは、商店街の皆様、9系統の沿道の方、婦人会からも強い要望があり、地域の利便性を高めるためには大型車両通行禁止区域を路線バスのみ通行できるように挑戦すべき新ルートと考え提案しました。**そして私は、**兵庫県警・建設局とも直接協議をし、交通局にも情報共有して進めています。**交通局からは「**需要・安全・地域合意が整えば新ルートとして検討できる**」との答弁を得ました。
→ **市民の声をもとに、利便性を高める路線づくりを引き続き求めてまいります。**



平野たつじからの交通局への提案ルート

■ 2. 市バス乗務員の交代・休憩の効率化について (市バスの効率化 回送ロス削減)

バス乗務員は休憩のために営業所へバスを回送、車両ごと休ませるケースが見られます。これでは「回送ロス」が発生し効率的ではありません。

そこで私は、**バス路線と市営地下鉄駅とが交差する地下鉄の駅構内に休憩スペースを設け、バス乗務員交代を行えば、車両を止めて効率の良い運用が可能になると提案しました。**交通局からも「**バスは休憩させずに走り続けるられる「駅スペース活用は有効**」との答弁があり、**実証的な取組(旧居留地・大丸前駅にて2・92系統バス)を進めるとの答弁を得ました。**
→ **効率化の成功事例を積み重ね、全市的に広げていくことを目指し継続取り組みます。**



湊町線からの東山町の側道

■ 3. 市バス乗務員の「点呼」のあり方について (遠隔点呼の導入提案)

運転前の健康確認や安全指示を行う「点呼」は、これまで対面が原則でしたが、令和4年度以降、遠隔点呼が段階的に解禁されています。

私は、**交通局が持つ地下鉄駅施設を活用して市バス乗務員の遠隔点呼を導入すれば、**
・出勤の負担軽減
・運行効率の向上
・多様な人材確保
につながると提案しました。
交通局からは「**安全文化の定着が第一だが、既存拠点から導入を進め、将来的に駅施設などでも検討する**」との前向きな答弁がありました。

→ **働き方改革と効率化を両立させ、市民負担を増やさず経営改善を図るよう求めています。**



決算特別委員会質疑の様子

■ 4. 地下鉄駅施設の全体マネジメントについて

市営地下鉄駅には、改札前の空間だけでなく、機械室や職員詰所など多くのスペースがあります。技術の進歩により一部で余剰スペースが生じる可能性もあります。

すでに、地下鉄湊川公園駅でマルシン市場出店(マルシンマルシェ)が交通局への質疑を元に実現いたしました。以来、地下鉄駅空間の利活用を以前よりも進言しておりました。

そこで地下鉄駅空間を全体的に見直し、最適化・集約を進めることで、新たな利活用につなげるべきだと提案しました。

→ **駅を「移動の場」だけでなく「地域に開かれた空間・滞留空間」として有効活用できるよう、今後も提案していきます。**

是非とも皆様からも本件(市バス・地下鉄)につきまして、ご意見を頂戴できればと思います。

兵庫区における「病児保育」実現へ!

これまで私は、市政の場で「**兵庫区に病児保育の設置を**」と繰り返し要望してまいりました。病児保育は、子どもが急に熱を出したときなど、保護者が安心して働き続けられるために欠かせない支援です。しかし兵庫区には長らく拠点がなく、保護者の皆さまからも切実なお声をいただけてきました。また、こうした子育て環境の整備は、ファミリー世帯の居住促進にも大きく影響する重要な課題です。

その必要性を行政に強く訴え続けるとともに、**地域の医師会にも直接働きかけを行い、積極的に意見交換を重ねてきました。**

その結果、**兵庫区医師会が中心となり病児保育実現へのご尽力のおかげで体制が整いつつあります。**

そして2025年度予算に計上され、**兵庫区における病児保育の設置が、具体的に進む段階に入りました!**

2026年4月には、**具体的な内容が見えてくる予定です。**



病児保育について *神戸市HPより

新しい救急情報システムが導入されます!(建設防災委員会より)

神戸市では、救急搬送をよりスムーズに行うために、2026年度から新しい「救急情報システム」が導入されます。これまでの救急現場では、搬送先の病院を決める際に、**救急隊が1つずつ病院へ連絡し、何度も同じ説明を繰り返すケースもありました。**そのため、**搬送先が決まりにくい場合、時間がかかる課題**がありました。新しいシステムでは、**患者さんの情報を複数の2次救急病院へ同時に配信し、受け入れ可能な病院を素早く把握**できます。

✓ **搬送時間の短縮** 病院への同時配信で、交渉にかかる時間を削減。現場滞在時間も短縮されます。
✓ **最適な病院を迅速に選定** 複数の病院から受け入れ状況を即座に確認し、最も適した病院へ搬送。
✓ **病院とのリアルタイム連携** 患者情報を即時共有し、搬送中に受け入れ準備が可能に。
✓ **業務効率化・ペーパーレス化** 救急隊員の負担軽減と、医療従事者の効率向上を実現。
この仕組みによって、搬送先の調整にかかる時間ロスを減らし、一刻を争う救急現場での**救命率向上**に繋がります。



救急情報システムの新旧の違いについて

神戸市議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP

神戸市会の本会議、委員会をインターネットにて閲覧できます。



神戸市会

村上たつま

市政報告 REPORT



●自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 市政報告(兵庫区版)《令和7年決算議会号》

[発行] 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 / 神戸市中央区加納町6-5-1・TEL.078-322-5846 HPはこちら



Photo: 後呂健児(お写真処 猫の額)

略歴

- 平成4年11月6日生 A型
- みなと幼稚園卒 会下山小学校卒
- 湊川中学校卒(野球部) 兵庫高校卒(98陽会、野球部)
- 兵庫県立大学経済学部国際経済学科卒
- 早稲田大学大学院政治学研究科修了(公共経営修士)
- 元久保田学園講師 港湾資材会社役員 空手道黒帯取得
- 平成31年4月神戸市会議員選挙当選(1期目)最年少議員
- 令和5年4月神戸市会議員選挙再選(2期目)最年少議員

現職

- ### 村上立真 / プロフィール
- 神戸市会議員(兵庫区選出)2期目
 - 海事代理士(日本海事代理士会神戸支部所属)
 - 神戸青年会議所会員
 - よみがえる兵庫津連絡協議会会員
 - 武陽野球倶楽部(兵庫高校野球部OBOG会)事務局長

実績TOPIC(一部)

神戸空港から東アジア以外への就航可能性を明確化!

神戸空港では、今年4月から東アジア各地への国際チャーター便がスタート。週40便が高い搭乗率で運航され、神戸空港の利便性とポテンシャルが改めて評価されています。一方で、「滑走路が2,500メートルだから5,000キロまでしか飛べない」といった誤った情報が一部で広まっていた。村上たつまはこの誤解を正すべく、議会で港湾局に対して質疑を行い、滑走路の長さだけでは航続距離は決まらないことを明確に確認しました。

港湾局からは、「滑走路が2,500メートルだから5,000キロまでしか飛べないというのは誤り」という趣旨の答弁を引き出すことができました。これにより、神戸空港が東南アジアやオセアニアを含むさらなる国際路線の就航を目指せることが明確になりました。今後は、関西エアポート神戸や地元経済界、行政が一体となって、新たな路線誘致に取り組む体制づくりを後押ししてまいります。



決算特別委員会港湾局審査における質疑

万博のレガシーを兵庫区へ!

先月ついに閉幕した関西万博。パラオ共和国のパビリオンで実際に展示された品々を用いての特別展を兵庫区にある県立兵庫津ミュージアムで行う計画について、大統領や大臣及び大使にご承認いただきました。村上たつまとかねてより親交の深い同国のご協力で万博のレガシーを兵庫区の皆様に来年中にはお見せできる予定です。



大使および関係者と打ち合わせ

市政に関するお困りごとをお気軽にご相談ください。

神戸市会議員 村上立真事務所

〒652-0046 神戸市兵庫区上沢通1-1-1 米澤ビル1階 / TEL.078-599-7760・FAX.078-336-3572

E-mail: murakami.tatsuma@gmail.com

《裏面に続きます!》



市政相談フォーム

議会活動より(一部)

一般質問

港で新たな雇用を! 六甲アイランドから神戸経済を動かす

神戸の港が、もっと地域の雇用と産業を生み出す場所へ。村上たつまは、六甲アイランドRC-4・5地区の再編にあたり、流通加工や組立などの機能を備えた複合ターミナルの整備を提案しました。

この提案を受け、市は港湾機能の強化と高付加価値な産業拠点づくりを進める方針を表明。従来の「貨物を運ぶだけの港」から一歩進み、新たなビジネスモデルを展開します。これにより、港湾関連の雇用拡大や地域経済の活性化が期待されます。神戸港の強みを最大限に生かし、次世代の港を目指す取り組みをリードしてまいります。



議会での
質疑動画はこちら

人もモノも動く神戸空港へ! 国内線の未来を守る提案

神戸空港の国内線利用者数は過去最高を更新する勢いがありますが、人口減少やコスト上昇で航空会社の国内線経営は厳しさを増しています。村上たつまは、こうした状況を踏まえ、インバウンド(訪日客)需要を国内線にも取り込み、地方空港との連携を強化すべきと提案。市はこれを有効な施策と認め、国内線維持・拡大に向けた取組を進める方針を示しました。さらに村上たつまは、国内線での小口貨物輸送の導入も提案。副市長からは「地域間交流を活性化し、新たなビジネスチャンスにつながる」との前向きな答弁がありました。神戸空港を「旅客だけでなく、物も動く空港」へ、空のネットワーク拡充を後押ししています。



一般質問の様子

決算特別委員会局別審査

【文化スポーツ局】

コベカツでの市所有施設活用の拡充を提案

中学校部活動の地域移行「KOBE◆KATSU」の円滑な実施と、子どもたちの活動環境向上を積極的に議論しました。特に、吹奏楽部や野球部など多くの中学校に現存する活動では地域移行によるメリットが実感しづらいです。村上たつまは、こうした課題を踏まえ、長田区のピフレホールを活用した平日夜間の実証実験を評価し、市が所有するホールやグラウンドなどの施設をより多くのコベカツクラブが利用できるよう提案しました。この取り組みにより、これまで学校単位では難しかった充実した練習環境を子どもたちに提供できるようになり、活動の質向上や新しい経験の場として期待できます。今後も、市の文化スポーツ施設を最大限に活用し、子どもたちが安全で楽しく充実した活動ができる環境づくりを進めてまいります。



決算特別委員会文化スポーツ局審査における質疑

【港湾局】「分散型花火」で 神戸の夜に新しいにぎわいを!

神戸港の夜を彩る「みなとHANABI」は、従来の1日型花火大会から、平日5日間に分散して開催する「分散型花火」へと進化しました。混雑を避け、ゆったり楽しめるだけでなく、平日の夜に人が集まり、ホテルや飲食店の利用が増えるなど経済効果も生まれています。従来は経費のうち花火に使われたのはわずか6%程度でしたが、分散型では倍以上に改善。協賛企業も年々増加しています。村上たつまは、増えた協賛金収入を単に市の負担軽減に使うのではなく、さらに花火の充実や夜のにぎわいづくりに活かすべきと提案しました。神戸の夜をもっと楽しく、美しく。これからも取り組みを進めてまいります。

経済港湾 委員会

市民の声を受けて、ポートアイランドスポーツセンターの プール再整備を丁寧に推進

村上たつまは、ポートアイランドスポーツセンターのプール再整備について、市民からの期待が高まる中、工事の進捗や今後のスケジュールについて丁寧に分かりやすい説明を行政に求めました。これにより、文化スポーツ局は、令和7年度の整備内容や工法、スケジュールの再検討を進める際に、議会や市民への説明を徹底する方針を明確化。村上たつまは、市民と議会に安心感を届ける行政対応の徹底を求めました。



経済港湾委員会における質疑

料金別納郵便

郵便区内特別

郵便はがき

--	--	--	--	--	--	--

お名前

ご住所 〒651-

北区

ご連絡先

神戸市会議員 坊 やすなが 市政報告会

「森の未来都市神戸～里山の資源利用と再生～」

(講演ゲスト) 黒田慶子 神戸市副市長

日時: 令和8年1月31日(土)

午後14:00～

神鉄岡場駅西側

場所: 北神区文化センター(ありまホール)

お誘い合わせの上でご参加お願い申し上げます。



令和7年9月8日
代表質問

(発行) 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
お問合せ先: 神戸市会議員 坊 やすなが
〒651-1301 神戸市北区藤原台北町 2-11-6
TEL 078(983)1711 FAX 078(983)1719
E-mail: yasunaga.bo@gmail.com

LINE
友達
募集中



神戸市会議員

坊 やすなが 市政報告会のご案内

恭賀新年



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は坊やすながに対しまして格別のご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は、第105代神戸市会議長並びに第65代全国市議会議長会会長として、一定の成果を収め、無事2年間の任期を終える事ができました。これも一重に皆様のご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

また昨年10月には神戸市長選挙が行われ、我々自由民主党が推薦致しました久元喜造市長が引き続き神戸市政を担うこととなりました。神戸市会第一会派として久元市長と健全な緊張感を保ちながらも市政運営を推進する両輪として、その役割を果たして参ります。変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして福分の増す素晴らしいお年となりますよう心よりご祈念申し上げます。



～心から感謝を込めて～

令和8年元旦

神戸市会議員 坊 恭寿

市政報告会 入場券(無料)

当日はのご案内ハガキをご持参ください。ぜひご家族やご友人をお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。入場券がない場合は、当日受付も用意しております。

皆様からいただいた声を市政に反映させるべく、

2025年も本会議と委員会で多くの質疑を行なってきました。

主な質疑の概要を紹介します。

市民の声と、
働く女性・母としての目線を活かす！

神戸、長田の未来

議事録・録画配信は
神戸市会ホームページ



神戸市会

検索



費用負担の課題

2025.9.18 | 決算特別委員会 教育委員会審査

Q 指導者の人件費が生じるための会費負担、公共交通を利用する場合の交通費の負担などに不安の声がある。特に交通費については、できるだけ発生しないよう近くで活動を確保できるのが望ましい。現状、近くで活動が確保できていない郊外も第三次募集で不足を解消していけるのか。

A 現在の部活動の主要な種目は、生徒が在籍する学校、または自転車で移動できる範囲で活動を選択できるよう確保に取り組んでいる。一定のめどが立ちつつあるが、3次募集できめ細かく調整していきたい。郊外部でどうしても移動手段の確保ができない地域も、格差が生じることのないよう対策を検討していく。

「KOBE◆KATSU(コベカツ)」と「部活動」の違い

2025.9.18 | 決算特別委員会 教育委員会審査

Q 部活動とは学習指導要領などにどのように位置づけられているのか。また、部活動の地域展開後はどのような扱いになるのか。特に「習い事」との違いを明確にしながら位置づけを行い、筋の通った財政支援を行うべきだが。



2025.12.1 | 教育子ども委員会

Q 生徒がやりたい活動に参加できるよう、家庭の経済状況等によって、登録団体が独自に会費の引き引きを行う対応は認めるのか？

A 会費については透明性を持って、公平な会費の設定となるよう要請する。できるだけクラブが柔軟に運営できるようにしたいが、経済状況に関わらず参加しやすいようにという部分は、しっかり市として対応していきたい。

A 今の部活動は学習指導要領で生徒の自主的、自発的な参加による教育課程外の活動とされているが、学校教育の一環として、教育課程との連携に留意することと位置づけられている。地域展開後、国がどう位置づけるかはまだ明確にされていないが、「部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させる活動」「学校との連携が大切」という2つにおいて一般的な習い事とは違うという認識だ。

コベカツ応援基金 (仮称)

決算市会での議論を経て市長は

- コベカツを条例で位置付けし、市がしっかり関与
- 保護者の負担を軽減する予算を措置する
- 基金を運動器具や楽器などの更新にも対応と発表しました。



自民党神戸市会議員団・無所属の会
YouTubeチャンネルで
質疑をご覧いただけます



猛暑への適応策

2025.10.10 | 本会議 一般質問



Q 熱中症アラートが頻繁に発令され屋外活動が制限される猛暑下で、全年代で対策は必要だが、とりわけ夏休みの子供達が体を動かす機会が乏しく、体力低下が心配だ。例えば、公園の遊具に遮熱ネットを設置したり、夏休み期間の小学校体育館の開放や、市が所管する体育館等の無料開放により、子供たちが安心して体を動かせる環境づくりを進めるべきではないか。

A こうべ木陰プロジェクトやクールスポットの設置、市立の全小・中学校に空調機、ウォータークーラーの設置など適応策を推進をしている。現在、東遊園の歩道部で実験中の自動開閉式のシェードや、遮熱ネット等を幅広く展開していきたい。小学校の体育館、市立の体育館の開放も、空調設備の状況も勘案しながら積極的に検討していきたい。

地域の活力を守る!



住宅供給の推進

2025.10.10 | 本会議 一般質問

Q 多様化する住まいのニーズに対応するため「良質でちょうどよい戸建て中心の住宅供給」に取り組み、郊外を中心に市有地売却の公募が開始された。長田区では西市民病院の移転後の跡地、マネジメント対象となった市営住宅の跡地の活用など、市街地で空洞化が課題となっている地域でも積極的に進めるべきかどうか。

A 2030年までに戸建て中心に5,000戸の住宅供給を計画的に進める。北区や西区からスタートし、次のステップで局横断のプロジェクトチームにより市営住宅や施設の跡地などの活用にサウンディング調査を始めている。西市民病院、市営住宅などの公共施設の跡地活用も積極的に実施していく。市街地ではまとまった規模の市有地は貴重な財産で、住宅供給に合わせ、地域の賑わいや利便性に資する施設など、幅広く検討する。



長田区への観光誘客

2025.3.6 | 予算特別委員会 経済観光局審査

Q 長田区南部のエリアには、鉄人28号のモニュメントや、市場や商店街といった下町の街並み、食文化、駒ヶ林の魚市場など、個性と多彩な魅力がある。漁港での食のイベントでは混雑が課題となるほど集客している。こうした各区に存在する大小様々な観光資源を磨き、国内外からのリピーターの観光客向けのコンテンツづくりが重要ではないか。

A 須磨シーワールドができ、垂水のアウトレットなど神戸の西への誘客施設ができている。市街地からのルート上にある長田のポテンシャルを活かして、リピーター向けに地域の魅力のプロモーションにも力を入れていきたい。



自民党神戸市議員団・無所属の会の
YouTubeチャンネルで
質疑をご覧ください



▲ 9月11日 経済観光局質疑

小売市場への支援

2025.9.11 | 決算特別委員会 経済観光局

Q 震災も乗り越えて近隣住民に長年親しまれてきた長田中央市場が営業を終了した。当事者も活性化に向け施設の活用を検討してきたが、有効なテナント誘致等できないまま閉店に至った。一定の組合員数があり、あらゆる可能性を検討できる時期を逸すると、アイデアがあっても実現が難しい。市場の関係者と経営課題を共有し、市も主体的に市場の盛り上げや再生に関わっていくべきではないか。

A 商業の活性化に向け、小売市場の魅力を広く知ってもらうために広報紙KOBでも小売市場の取組を紹介するなど集客を支援してきた。難しい課題があるが、解決策の選択肢がある段階で、まちの活性化という観点で、行政が主導的に当事者と将来像について深い議論しながら、小売市場の再生に力を注いでいきたい。



健康と安心を守る!



口腔機能の維持

2025.10.10 | 本会議 一般質問

Q 国と日本歯科医師会が提唱してきた8020運動や、本市が推進してきた高齢者のオーラルフレイルチェック対策の成果で高齢でも自分の歯がある方が増えたのは良いが、病気で認知症で、自身の歯磨きが困難となるなど、歯が残っているがゆえの課題も生じている。口腔ケアと同時に摂食・嚥下機能の維持など、高齢者に特有の対応も必要となってきた状況も踏まえて今後どう取り組むのか。

A 摂食・嚥下機能の維持への対応は、地域の診療所で治療が困難な患者を診てきたこべ市歯科センターで、歯科医師会と協議しニーズの把握に努めるなど、まず課題を整理したい。また歯周病検診やオーラルフレイルチェックの受診率向上や、訪問事業への支援を通じて、高齢者の口腔機能の維持・向上に取り組む。

はり、きゅう、マッサージ施術の活用

2025.10.10 | 本会議 一般質問

Q 本市では高齢者福祉の一環として、はり、きゅう、マッサージ施術割引券を70歳以上の方に交付しているが、予防的な健康施策の観点から、前期高齢者や働く人も応援する事業へと考え方を転換し、より幅広い世代の健康増進に資する制度へ見直してはどうか。

A 割引券の利用率が40%程度なので、まずは現行の対象年齢の方に幅広く使用いただけるよう制度の周知等を進める。一方で、幅広い世代の健康増進策として啓発や相談を実施し、国保では40歳以上の方に特定健診等を推進をしている。予防の観点や働く人を応援することは重要であり今後もしっかり取り組みたい。

妊娠前からの健康支援

2025.10.10 | 本会議 一般質問

Q 本市では妊娠前から子育て期の切れ目無い支援を掲げ、プレコンセプションケアの推進なども一定は取り組んでいるが、不妊への対応や、女性特有の健康課題への支援は一層重要になっている。例えば子供を授かりやすい体づくりに鍼灸を取り入れる等、子供を授かることからの切れ目ない支援を充実させてはどうか。

A 女性特有の健康課題への対応は国の主要施策として位置づけられており、市としても重要視している。今年度は女性のウェルビーイング × ヘルスケアをテーマに、シンポジウムや勉強会を実施した。また神戸大学と連携し、女性に多い低栄養や骨粗鬆症に関する分析を進め、今後の活用を検討している。今後も新たなテクノロジーの活用など注視を積極的に取り組む。

民間病院への支援

2025.10.10 | 本会議 一般質問

Q 近年、赤字経営の病院が全体の約7割に上り、民間病院についても持続可能な体制の議論が必要だ。本市は二次救急医療体制を維持するため年間約2億7,000万円の運営補助金を交付をしてきたが、搬送件数は増加しており、昨今の物価高騰の影響下の危機的な状況を踏まえ、必要な支援策を講じるべきではないか。

A 市民の命と健康を守る体制は、市民病院群だけでは成り立たない。特に夜間・休日の民間病院による輪番体制は、市内二次救急医療になくてはならない。昨今の物価及び人件費の上昇も踏まえ、運営費補助の在り方を令和8年度予算の中でしっかりと議論したい。



神戸市会ナビ

市会の活動(定例会の報告や議員の発言、議会の中継など)に関する最新情報や、議会をより身近に感じてもらうための広報コンテンツを随時アップ中です。



わかりやすく
市会の動向を
お知らせします。



神戸市会ナビ



検索

「リニューアル!」
会派HPでも
日々の活動を
お知らせしています



お問い合わせ 連絡先

平井まち子事務所

長田区五位ノ池町3-9-30

TEL.& FAX. 078-643-0647 (電話は月~金 9時~17時)

machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市議員

北 区

うえなか 美貴子

ごあいさつ

令和7年10月27日、神戸市議員として、決意を新たに一步を踏み出しました。12月8日には初めての一般質問に臨み、ご答弁を踏まえて要望を述べ、今後に向けた課題を見出す機会となりました。このほか精力的に取り組んで参りました活動につきましてご報告いたします。

今後とも、誰もが幸せを実感できる暮らしの向上に努めてまいります。

神戸市議員 うえなか 美貴子

10月27日 初登庁 徽章交付式

議員バッジの重みを胸に刻み、地域の皆さまから託された期待に応えられるよう、市政に全力で取り組んでまいります。



令和7年 第2回定例会にて(12月8日)
50分間の一般質問

令和7年 第2回定例会

令和7年12月8日(月)、自由民主党神戸市議員団・無所属の会を代表して50分間、一般質問を行いました。



再質問 うえなか美貴子

森林管理において、適切な時期に伐採を行い若い樹木を計画的に育てることが重要。同時に、伐採された木材の有効活用・循環的利用を促進することが求められる。

「六甲山森林整備戦略」では木材活用についてどのような方向性を示しているか。

答弁 黒田副市長

- 現在伐採された樹木は、建築材や家具、内装等に使用。活用しづらい部分は、炭や薪といった燃料や、食器・おもちゃ等の小さな木製品への活用を検討している。枝葉に至るまでできる限り活用することで、森林資源の循環を目指している。
- 「六甲山森林整備戦略」では、森林の再生を目的とする資源循環を重視した改定を行っていくとしている。

再質問 うえなか美貴子

- 現在年間約3,000万円の処理を要している加工に難しい木材を、エネルギー源として活用すべきでは？



チップ化の様子。
枝先まで全木を燃料化。

① 持続可能な森林管理のあり方 について

生活様式の変化や担い手不足により、全国的に森林・里山の荒廃が進む中、「今後の森林管理の展開と、森林資源の有効活用」について質問しました。

質問 うえなか美貴子

持続可能な森林管理に向けてスピード感をもって対応していくためには、企業・地域・大学・NPOといった様々な主体との協働を強化すべきではないか。



答弁 黒田副市長

- 公民共創の場として「こうべ森と木のプラットフォーム」を立ち上げ、森に関する情報提供、情報共有や啓発を行っている。
- 神戸の森の現状や資源循環の大切さを多くの方に知っていただくために、市民企業、学生等を対象にフォーラムを開催。また、小学生から中・高校生を対象に授業に参加しての広報啓発を実施。
- 次の展開は、企業やNPO等に森林整備のどの部分を協働できるか、どんなふう to 実施していけるかを検討しながら、様々な主体との連携強化に取り組んでまいります。



- 木材チップを燃焼するバイオマスボイラーの導入（※県補助制度が今年度創設）。
- 加工・輸送の最適化を図る為、近隣に木材ストックヤードがある「しあわせの村」等、市内各施設での資源循環の取り組み。

について、具体的な事例（他市のチップ化現場や市内ゴルフ場でのボイラー活用）を示し、木質バイオマスボイラー導入検討を求めた。

答弁 黒田副市長

ボイラー導入には燃料チップの安定供給・初期投資・保管スペース等の課題がある。兵庫県補助制度も踏まえ、木質バイオマスの需要状況の把握など引き続き検討していく。

要望

あらゆる資源を効率的・循環的に利用して環境と経済の好循環を実現する為に、今後も黒田副市長のリーダーシップの下で、市民・事業者・行政が一体となった森林施策の推進を強く要望しました。

② 農業振興 について

農業の担い手確保と農業振興について質問しました。

質問 うえなか美貴子

全国的に新規就農者は減少傾向で、神戸でも高齢化と後継者不足が課題である。本市では令和4年度から6年度の3年間で計130人の新規就農者が生まれ、「神戸ネクストファーマー制度」による半農半Xでの就農支援が一定の成果をあげているが、より一層の取り組みが必要ではないか。



答弁 久元市長

- 経営開始資金や農業機械導入補助などの制度を活用している。
 - 「地域計画」により、農地一筆ごとの担い手を「見える化」し、新規就農者が借りられる農地を地図上で明確化している。
 - ネクストファーマーの研修修了者160名が実際に就農している。
- 持続可能な農業の振興、農村地域の活性化につなげていきたい。

再質問 うえなか美貴子

近隣自治体では、ネクストファーマー制度に研修時間が要件となっていない例もあり、「神戸の新規就農のハードルが高い」と捉えられないよう、さらなる要件緩和が必要ではないか。



答弁 今西副市長

- 大規模農地での本格就農も、営農計画や経験に応じ柔軟に判断していく。
- 農業委員会とも連携し、よりスムーズな就農につながる運用改善を図る。
- ネクストファーマーも希望があれば農地取得を可能とするなど、「就農しやすいまち神戸」をめざす。

再質問 うえなか美貴子

ドローンによる農薬散布や水管理システム等は大きな省力化効果がある。スマート農業技術の導入をさらに進めてはどうか。



答弁 今西副市長

- ラジコン草刈機やアシストスーツなど既存作業の省力化支援。
- ドローン直播栽培といった新たな栽培方法は、生産者にとって効果が分かりづらく、心理的ハードルが高いことを踏まえ、先進事例の紹介や市内でのモデル農場整備など、効果を実感できる形で普及を進める。

要望

スマート農機を活用した栽培方法への移行を進めるにあたり、引き続きスマート農機導入への補助、使い方、導入運用までしっかりサポートできる体制強化を要望いたしました。また、学校給食へのオーガニック導入の流れをさらに進め、「オーガニックシティ神戸」の実現へ一層の取り組みを要望しました。



③ 不登校対策 について

増加傾向にある不登校児童生徒への支援と未然防止について質問しました。

質問 うえなか美貴子

神戸市では、令和6年度の不登校児童生徒数が小中合わせて4,463人で、全国同様、深刻な課題となっている。令和5年7月に不登校支援の充実に向けた基本方針を策定しているが、個々の状況に応じた支援の充実、支援策の積極的な周知のあり方について、今後どのように展開していくのか。



活動報告

11月9日 KOBE里山自然共生センター完成

2023年に環境省から自然共生サイトに認定された山田町小河の山林に誕生した「KOBE里山自然共生センター」は、里山再生の拠点として小河地域活性化の希望となる施設です。建物には神戸市産の木材が使われ、館内では木の香りと自然の風を感じながら、里山の魅力に触れることができます。



在来種の剥製等
展示されています

◀オープニングセレモニーに出席

11月15日 しごと体験わくわくランド2025 (於:デュオドーム)に参加しました。

兵庫県の専門学校が大集合し、仕事体験ブースやステージイベント、作品展示が行われ、会場は大いに賑わいました。仕事体験を楽しまれた小学生から中・高校生の皆さんが、将来目指す専門職に必要な力を身につけ、学んだ知識や技術を十分に発揮し、ここ神戸で活躍してほしいと願っております。



リハビリテーションお仕事
体験ブースにて、体力(圧力)
チェック

結果は



答弁 福本教育長

- 全小中学校への「校内サポートルーム」の設置および支援員を配置。
 - みらいポート・学びの多様な学校を開校、こべっ子オンライン広場を試行開始。
- など、支援体制の充実を進めている。



再質問 うえなか美貴子

平成28年度～令和6年度までの間において、小学1年生に限ると不登校児童数が約6.0倍となっており、小学校低学年の不登校児童が大きく増えている。

「不登校になってからどう支えるか」だけでなく、「不登校を未然に防ぐこと」にも力を入れるべき。市内全区に設置されている「こどもっとひろば」を活用し、就学前の子どもたちが、小学校での学習体験や心構えを学べる講座を実施してはどうか。

答弁 今西副市長

- 小学校でのオープンスクール開催や、幼稚園・保育園との連携強化。
- こどもっとひろばへ子育てチームアドバイザーを配置し、相談支援機能の強化。
- 未就学児と小学生が一緒に過ごせるイベントの実施。



などに取り組んでいる。

- こどもっとひろばの閉館後や土曜日に、5歳児親子向けの交流プログラムを検討する。
- 子育てサークルなどへの実施場所提供、教育委員会の就学前相談の情報発信の強化。

などを通じて、入学前の親子に寄り添った取り組みを進める。

④ 北神エリアの活性化について

北神エリアの活性化と鉄道ネットワークの維持について質問しました。

質問 うえなか美貴子

北神急行の市営化から5年が経過し、運賃の大幅な低減により「三宮に出掛けやすくなった」といった声が多く寄せられている。

神戸市は、神戸電鉄との連携協定のもと、「駅再整備計画・設計」に10分の10の補助、「改修工事」に4分の3の補助という手厚い支援を行い、2023年に「花山駅」と「大池駅」が、2025年に「有馬温泉駅」がリニューアルしたものの、「計画的な駅の再整備」には道半ばである。

粟生線を含む神戸電鉄全体の経営方針に対して、従来以上に踏み込んだ働きかけを行うべきではないか。

答弁 久元市長

- 駅前広場でのイベント開催により、既に一定の賑わいが生まれている。
- 唐櫃台駅や有馬口駅をはじめ、他の駅でも地域・事業者と共に再生に向けた検討を進めている。
- 少子高齢化や沿線人口減により、今後粟生線の赤字問題が一層深刻化する懸念がある。

「鉄道とまちが一体となったまちづくり」を進めるため、神戸電鉄の経営にこれまで以上に関心を持ち、経営方針に対する積極的な働きかけのあり方を、スピード感を持って検討する。



要望

魅力ある北神エリアの実現に向け、さらなる活性化と交通アクセスの維持・改善に、今後も積極的に取り組むよう重ねて要望しました。



今回の一般質問を通じて

- 森林資源の循環利用と「資源循環都市・KOBE」への歩み
 - 農業の担い手確保とスマート農業、オーガニックの推進
 - 不登校支援の充実と就学前からの未然防止
 - 北神エリアのさらなる活性化と鉄道ネットワークの維持
- といった、神戸の将来に直結する課題について、具体的な提案と議論を行いました。

今後も、現場の声を大切にしながら、市民の皆さまとともに、「環境と経済が循環し、誰もが安心して暮らせる神戸」の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。



YouTube

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会チャンネル



11月27日 神戸海洋シンポジウム

海洋産業振興や海洋人材育成の取り組み等を講演で学びました。



11月28日

テクノオーシャン2025視察(神戸国際展示場)

水中ドローンや無人潜水艇(ROV)等の様々な最新の海洋ロボットを視察しました。



MIKIKO's Check Point



どれも鮮やかな色彩なのはどうしてですか？



Answer

水中での視認性や衝突防止等の安全性を高めるためです。

12月7日

BE KOBE ORGANIC DAY!! in あいな里山公園



農村舞台や茅葺き屋根が広がる里山で、オーガニックに取り組む農家・飲食店の出展ブースが並び、自然の恵みを感じるひとときとなりました。手間ひまを惜しまず、体にやさしいものをもとめ愛情を込めて育てられるオーガニック栽培。その想いを、学校給食への導入を通じた食育として、子どもたちにも伝えていきたいものです。



12月19日 県立北神戸総合高等学校にて 主催者教育

生徒が自ら考え、判断し、意志決定を行う経験をすることで、政治に積極的に参画する姿勢を養います。政治に対する関心を高めるための授業に参加しました。



12月19日 神戸市第二学校給食センター視察

西区に完成の給食センターにより、神戸市では2026年1月から市内82校全ての市立中学校で、栄養バランスの取れた温かく美味しい給食が提供されることになりました。

展示場からは、回転釜がずらりと並び調理場が見下ろせ、クイズコーナーや給食作りを紹介する映像上映等、学校給食について楽しみながら理解を深められる場となっています。



住みよい北区の実現に向けて

神戸電鉄 箕谷駅前の 早期再整備を要望いたしました。

レトロで趣のある木造の駅舎が特徴の箕谷駅ですが、駅に至るまでの動線の老朽化が著しい状況です。

通勤通学の皆様の安心・安全のため、早期の再整備を要望いたしました。



岡場駅前の 整備計画案について

「広場空間の高質化」、「周辺施設へのバリアフリー動線の改善」など、岡場駅前の整備計画の意見交換のためのワークショップが、北神戸区役所で開催されています。

2月1日、5月9日、7月11日のワークショップに、私も参加させていただき、皆様と共に岡場駅の未来について考えていきます。



お知らせ

ひよどりこえ森林公園内に 「樹林葬墓地」が整備されます。



神戸市立樹林葬墓地概要

使用料	一体につき15万円
対象者	[ア] 本市に6カ月以上住所を有し、埋蔵する焼骨を所持している者 [イ] 生前に市民であった者の焼骨を所持している者 [ウ] 本市に6カ月以上住所を有し、自己の死後に埋蔵を希望する65歳以上の者 [エ] 市立墓園に埋蔵・収蔵している焼骨を改蔵しようとする者
埋蔵方法	個々に墓標を設けず、墓所区域となる樹林に一定の間隔を設けて、粉骨を土と混ぜて直接埋蔵
埋蔵数	約1,600体（1年あたり80体）
管理期間	募集期間は20年。その後30年は墓地として管理。
スケジュール	令和8年3月 整備工事完了・募集開始／令和8年夏頃 供用開始



通学路が緊急時の避難道路になりました。

花山東町は、車の進入路が1箇所しかなく、その進入路が使用できなくなった際の不安を抱えておられる住民の皆様のご要望により、令和7年12月23日に、従来の通学路の周りの木々を伐採し、幸陽町へ抜ける緊急時の避難道路が出来上がりました。

従来どおり、通学路として使用し、いざの時には出入口のポールを下げると救急車や消防車が通過できます。

木々の伐採により広く明るい道路になり、住民の皆さんの安心・安全な暮らしの確保になりました。



神戸市議員 **うえなか美貴子**

公式ホームページ <https://mikiko-uenaka.net>

〒650-0001 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL. 078-322-5846 FAX. 078-322-6164 mail@mikiko-uenaka.net

